芦田川上流ブロック

アンケート集計結果

～　目次　～

Ⅰ.アンケート実施要項…… 1
Ⅱ.アンケート集計結果…… 3
・御調川アンケート集計結果のまとめ …… 3
・野間川アンケート集計結果のまとめ …… 8
・山田川アンケート集計結果のまとめ ……10
・御調川フリーアンサーの集約 ……12
・野間川フリーアンサーの集約 ……18
・山田川フリーアンサーの集約 ……20
・御調川アンケート集計結果 ……22
・野間川アンケート集計結果 ……32
・山田川アンケート集計結果 ……37

Ⅰ.アンケート実施要項

1.アンケートの目的

アンケート調査は、「河川整備計画」を検討する上で、地元住民のご意向を計画に反映させるために実施しました。したがって、調査の内容は、住民の「川への関心の度合い」、「現在の川について感じておられること」、「将来の川や整備について望むこと」としました。また、アンケートは今回整備を行う御調川、野間川、山田川の各流域にお住まいの方を対象として実施しました。

2.アンケート調査内容

調査内容は次のとおりです。

御調川アンケート調査内容

大区分	小区分	質問内容	質問番号	実施時期	
				一般層向け	若年層向け
1.川への関心	愛着	川に親しみや愛着を感じますか	質問 1	平成 13 年 3 月	平成 17 年 3 月
	川の利用目的	川にどの程度行きますか	質問 2		
		川に行ったときに何をしましたか	質問 3		
2.現在の川について	現在の川への満足、不満足	現在の川で満足、安心されていること	質問 4		
		現在の川で不満、不安なこと	質問 5		
	過去の被害	川より被害を受けたことがありますか	質問 6		
		いつ、どこで、どのような被害を受けましたか	質問 7		
3.将来の川について	将来に望むこと	河川整備を行う場合に期待すること	質問 8	平成 17 年 3 月	
		将来の川で大切だと思うこと	質問 9	平成 13 年 3 月	
	治水対策	洪水被害を減少させる方法	質問 10		
		この計画について特に配慮する必要があると思うこと	質問 11	平成 17 年 3 月	
	利水対策	水道用水の利用や水不足への対策	質問 12	平成 13 年 3 月	
	環境、親水	川の自然で、今後、残したい環境	質問 13		
		人と御調川が親しむために、どのようなことが必要か	質問 14		
	川の管理	川の管理はどのように行うか	質問 15		
4.自由意見		川への意見	質問 16		

野間川・山田川アンケート調査内容

大区分	小区分	質問内容	質問番号	実施時期
1.川への関心	愛着	川に親しみや愛着を感じますか	質問 1	平成 12 年 11 月
	川の利用目的	川にどの程度行きますか	質問 2	
		川に行ったときに何をしましたか	質問 3	
2.現在の川について	現在の川への満足、不満足	現在の川で満足、安心されていること	質問 4	
		現在の川で不満、不安なこと	質問 5	
	過去の被害	川より被害を受けたことがありますか	質問 6	
3.将来の川について	将来に望むこと	将来の川で大切だと思うこと	質問 7	
	治水対策	洪水被害を減少させる方法	質問 8	
	利水対策	水道用水の利用や水不足への対策	質問 9	
	環境、親水	川の自然で、今後、残したい環境 川と人がふれあう方法	質問 10	
	川の管理	川の管理はどのように行うか	質問 11	
4.自由意見		川への意見	質問 12	

3.アンケート調査方法

調査方法は次のとおりです。

	御調川			野間川	山田川
配布先	一般層向け		若年層向け	流域内の全戸	
	流域内居住者から無作為抽出	流域内居住者全般	御調高校他		
配布方法	郵送	新聞折込	委託	郵送	回覧版にて配布
実施時期	平成 13 年 3 月	平成 17 年 3 月		平成 12 年 11 月	
回収方法	郵送				
配布数（通）	603	3,410	143	334	313
回収数（通）	209	152	119	184	151
回収率（%）	34.7	4.5	83.2	55.1	48.2

Ⅱ.アンケート集計結果

御調川アンケート結果のまとめ

１．一般層向け

御調川流域にお住まいの全世帯（603 戸）に対してアンケートを行い、209 戸（約 35%）の方から回答をいただきました。また、流域にお住まいの居住者（3,410 人）に対して追加のアンケートを行い、152 人（約 5%）の方から回答をいただきました。その結果を要約すると次のとおりです。

（1）「川への関心」に関する回答結果

回答者の 73%の方が、御調川に対して親しみや愛着を感じておられます。

御調川へは概ね 9 割の方が行かれたことがあり、回答者の概ね 5 割の方は 1,2 週間に 1 回程度以上御調川に行かれています。御調川へ行かれたときにされることを回答数の多いものから示すと、「洪水を見た」（23%）、「散歩」（18%）、「釣り」（13%）、「水不足を見た」（11%）、であり、御調川は流域にお住まいの人々の関心が高いことがうかがえます。

（2）「現在の川について」の回答結果

現在の御調川で満足、安心されている点は「特にない」（21%）が最も多く、続いて「普段の水量」（16%）、「水不足にならない」（16%）、「川の風景」（12%）、「水質」（8%）となっています。

不満、不安な点は「洪水に対する安全性」（23%）が最も多く、「水質」（20%）、「ごみが多い」（20%）、「動植物の少なさ」（9%）、「川とのふれあいにくさ」（9%）、で、実際に被害を受けられた方は 100 人（48%）です。被害の内容としては「洪水に関すること」（93 人）がもっとも多く、約 8 割を占めています。

（3）「将来の川について」の回答結果

御調川の河川整備を行う場合に期待されることは「洪水に対して安心できる川づくり」（65%）、「水がきれいで鳥や魚などがすめるような環境にやさしい川づくり」（28%）が多く、ほとんどこの 2 つの回答であり、全体の 93%となっています。

将来の御調川で大切だと思われている事柄は「水質」（29%）と「洪水に対する安全性」（28%）が多く、以下、「生物が多い」（6%）、等となっています。

洪水被害を減少させるために必要だと考えられている工事としては、「川底を深くする」（26%）、「堤防を高くする」（14%）、「川幅を広げる」（12%）、「その他」（11%）等となっています。

河川断面を大きくする為に川幅を拡げたり、川底を掘削する計画について特に配慮する必要があると思われることとして、回答の多い順から「生きものが自由に移動できる河川整備」（22%）、「瀬や淵の保全」（21%）、「親水性に配慮した河川敷・護岸の整備」（20%）等となっています。

水不足に対して今後行う必要のある対策としては、「地下水の利用」（21%）、「節水に努める」

（20%）などです。

御調川の自然として残したいものとしては「魚たちがすめる瀬や淵」（50%）が多く、「川の中に残る岩場」（27%）、「川の中にしげる草」（13%）が続いています。

また、御調川と親しむための整備として、「川に近づきやすいように階段を設置する」（18%）、「川に公園などを設置する」（15%）、「川に近づきやすいように堤防を緩やかにする」（14%）と約半数の人がハード的な整備を要望しています。「川を利用したイベントを開催する」という意見は 5%であり、ソフト的な対応には関心が低い結果となっています。さらに、整備箇所のフリーアンサーは 44 名の記入があり、具体的な整備箇所として場所が特定できる複数意見は、「梅の木橋周辺」（5 名）、「三郎丸町」（4 名）、「常安橋周辺」（3 名）、「明郷小学校付近」（3 名）、「河南町」（2 名）、「大塔川合流点」（2 名）となっています。

御調川の管理（清掃）方法として、「基本的には管理者により川の清掃等を行うべきだが、要請があれば協力する」（37%）が最も高く、「川はみんなの財産であり、地域住民の協力により川の清掃等を行う」（23%）、「河川管理者により、川の清掃等を行うべき」（12%）の順番で多くなっています。

（4）自由意見

御調川（一般層）に対する自由なご意見は、128 名（61%）の方々からいただきましたが、ご意見の内容を整理すると、「ダム関連」、「環境」、「治水」、に大別することができました。

「ダム関連」としては、ダムの管理に対する意見が多くありました。

「環境」に関する意見としては、魚や昆虫などの生物が棲みやすい川にして欲しいとの意見などがありました。

「治水」に関する意見としては、洪水に対する安全度の向上を望む意見が多くありました。

なお、「利水」に対する意見はほとんどありませんでした。

２．若年層向け

御調川流域の御調高校他の若年層の方（143 人）に対してアンケートを行い、119 人（約 83%）の方から回答をいただきました。その結果を要約すると次のとおりです。

(1)「川への関心」に関する回答結果

回答者の 30%の方が、御調川に対して親しみや愛着を感じておられます。

御調川へは約 7 割の方が行かれたことがあり、回答者の約 1/3 の方は 1,2 週間に 1 回程度以上御調川に行かれています。御調川へ行かれたときにされることを回答数の多いものから示すと、「通勤・通学のルート」（21%）、「散歩」（19%）、「水遊び」（18%）、「釣り」（15%）、「洪水を見た」（11%）、「水不足を見た」（6%）等となっています。

(2)「現在の川について」の回答結果

現在の御調川で満足、安心されている点は「特にない」（41%）が最も多く、続いて「川の風景」（15%）、「普段の水量」（9%）、「動植物の豊かさ」（8%）、となっています。

不満、不安な点は「水質」（24%）が最も多く、「ごみが多い」（21%）、「特にない」（14%）、「洪水に対する安全性」（11%）、「川とのふれあいにくさ」（8%）、で、実際に被害を受けられた方は 13 人（11%）です。被害の内容としては「洪水に関すること」（6 人）がもっとも多く、約 5 割を占めています。

(3)「将来の川について」の回答結果

御調川の河川整備を行う場合に期待されることは「水がきれいで鳥や魚がすめるような環境にやさしい川づくり」（51%）が多く、「洪水に対して安心できる川づくり」（28%）、「日照りの時に十分な水が確保できる川づくり」（7%）、「人々が憩いの場となる施設や場所の整った川づくり」（7%）が続いています。

将来の御調川で大切だと思われている事柄は「水質」（34%）と「ごみが少ない」（21%）が多く、以下、「生物が多い」（14%）、等となっています。

洪水被害を減少させるために必要だと考えられている工事としては、「わからない」（40%）、「川底を深くする」（21%）、「堤防を高くする」（17%）、「川幅を広げる」（10%）等となっています。

河川断面を大きくするために川幅を拡げたり、川底を掘削する計画について特に配慮する必要があると思われることとして、回答の多い順から「生きものが自由に移動できる河川整備」（31%）、「川の中に生い茂る草や点在する岩場の保全」（19%）、「瀬や淵の保全」（17%）となっています。

水不足に対して今後行う必要のある対策としては、「わからない」（36%）、「地下水の利用」（26%）、「節水に努める」（22%）などです。

御調川の自然として残したいものとしては「魚たちがすめる瀬や淵」（52%）が多く、「川の中に残る岩場」（19%）、「川の中にしげる草」（14%）が続いています。

また、御調川と親しむための整備として、「川に公園などを設置する」（29%）、「川に近づきやすいように階段を設置する」（21%）、「川に近づきやすいように堤防を緩やかにする」（19%）と

約 7 割の人がハード的な整備を要望しています。「川を利用したイベントを開催する」という意見は 10%であり、ソフト的な対応には関心が低い結果となっています。

御調川の管理（清掃）方法については、「川はみんなの財産であり、地域住民の協力により川の清掃等を行う」（38%）の回答が最も多く、以下「基本的には管理者により川の清掃等を行うべきだが、要請があれば協力する」（24%）、「河川管理者により、川の清掃等を行うべき」（14%）の順となっています。

（4）自由意見

御調川（若年層）に対する自由なご意見は、58 名（49%）いただきましたが、ご意見の内容を整理すると、「ダム関連」、「環境」、「治水」、に大別することができました。

「ダム関連」としては、放流による下流河川の水量や生態系への影響に対する意見が多くありました。

「環境」に関する意見としては、ゴミが多く、水質が悪くなった等の意見などがありました。

「治水」に関する意見としては、洪水に対する安全度の向上を望む意見が多くありました。

なお、「利水」に対する意見はほとんどありませんでした。

御調川アンケート結果による整備計画への反映

アンケート結果より、御調川流域にお住まいの方々は御調川に関心が高く、現状の「普段の水量」や「水不足にならない」ことに満足されているものの「洪水に対する安全性」や「水質」で不安に思われている方が多くおられます。将来の御調川では「水質」「洪水に対する安全性」を大切だと考えておられる方が多く、「洪水被害」に対しては「川底を深くする」や「堤防を高くする」などの「河道改修」が有効な対策であると多くの方が考えておられます。また、今後残したい自然としては、多くの方が「魚たちのすめる瀬や淵」と考えておられ、御調川と親しむための整備としては半数以上の方が、「堤防を緩やかにする」、「階段を設置する」、「公園などを設置する」といったハード的な整備を要望されています。

今回、御調川の河川整備においては、御調川の河道改修により、洪水防御を行いたいと考えています。ただし、動植物の生息環境に配慮することを望まれている方が多く、また、前回の検討委員会においても親水性を考慮するようご意見をいただいていることから、瀬や淵は魚類等の生息生育環境の保全をするため極力残すとともに、護岸については植生の回復を期待できる構造とします。また、川幅に余裕のある箇所については、堤防や水際を緩傾斜にし水辺に近づきやすくするなど、親水空間の整備に努めます。

また、水質については、今後も引き続き調査を行い監視していくとともに、必要に応じて対策を行っていきたいと考えています。

野間川アンケート結果のまとめ

野間川流域にお住まいの全世帯（334 戸）に対してアンケートを行い、184 戸（約 55%）の方から回答をいただきました。その結果を要約すると次のとおりです。

１.「川への関心」に関する回答結果

回答者の 64%の方が、野間川に対して親しみや愛着を感じておられます。

野間川へは約 8 割の方が行かれたことがあり、回答者の約 4 割の方は 1,2 ヶ月に 1 回程度以上野間川に行かれています。野間川へ行かれたときにされることを回答数の多いものから示すと、「農業用の取水」（25%）、「水不足を見た」（17%）、「洪水を見た」（14%）、「散歩」（11%）、「釣り」（10%）であり、野間川は流域にお住まいの人々の生活と密着した川であり、野間川への関心が高いことがうかがえます。

２.「現在の川について」の回答結果

現在の野間川で満足、安心されている点は「水質」（21%）が最も多く、続いて「水不足にならない」（18%）、「普段の水量」（12%）、「特にない」（12%）、「ごみが少ない」（11%）、「動植物の豊かさ」（8%）となっています。

不満、不安な点は「洪水に対する安全性」（22%）が最も多く、「特にない」（17%）、「水不足」（14%）、「川とのふれあいにくさ」（10%）、「ごみが多い」（9%）で、実際に被害を受けられた方は 42 人（23%）です。被害の内容としては「洪水に関すること」（25 人）、「水不足に関すること」（9 人）などとなっています。

３.「将来の川について」の回答結果

将来の野間川で大切だと思われている事柄は「洪水に対する安全性」（16%）が多く、以下「水質」（16%）、「水不足にならない」（16%）、「水量」（11%）、「特にない」（5%）等となっています。

洪水被害を減少させるために必要だと考えられている工事としては「新しいダムの設置」（33%）、「川幅を広げる」（20%）、「堤防を高くする」（9%）、「川底を深くする」（3%）等となっています。

水不足に対して今後行う必要のある対策としては、「新しいダムの設置」（47%）、「地下水の利用」（13%）、「節水に努める」（8%）などです。

野間川の自然として残したいものとしては「川の中にしげる草」（43%）、「魚たちがすめる瀬や淵」（42%）が多く、「川の中に残る岩場」（8%）が続いています。

４．自由意見

野間川に対する自由なご意見は、83 名（45%）の方々からいただきましたが、ご意見の内容を整理すると、「ダム関連」、「環境」、「治水」、「利水」に大別することができました。

「ダム関連」としては、農業用水、水道用水としてダム建設に期待している意見があります。また、ダム下流の環境整備の要望や水質が悪化することを危惧されている方がおられます。

「環境」に関する意見としては、魚や昆虫などの生物が棲みやすい川にして欲しいとの意見がありました。また、河川の整備においては生態系に配慮して欲しいとの意見や親水性を考慮した整備を望む意見がありました。

「治水」に関する意見としては、洪水からの被害防止のために御調川合流付近等の河川改修を望む意見がありました。

「利水」に関しては、農業用水、上水道として野間川を利用したいとの意見があります。

野間川アンケート結果による整備計画への反映

アンケート結果より、野間川流域にお住まいの方々は野間川に関心が高く、現状の「水質」や「普段の水量」に満足されているものの「洪水に対する安全性」を不安に思われている方が多くおられます。将来の野間川は「洪水に対して安全」にして欲しいと考えておられる方が多く、「水質」や「水不足」を大切な事柄と考えておられる方もおられます。

「洪水被害」、「水不足」に対しては「ダム建設」が有効な対策であると多くの方が考えておられます。ただし、ダム建設など河川整備においては環境への配慮を望まれておられる方が多い結果が得られました。

今回、野間川の河川整備においては、野間川ダムの建設により、洪水防御及び流水の正常な機能と水道用水の供給を行いたいと考えています。また、野間川の下流部では河川改修を併せて行い、洪水防御を行いたいと考えています。ただし、水質など環境に配慮することを望まれている方が多く、また、前回の検討委員会においてもダム建設における水質への影響に関して考慮するようご意見をいただいていることから、水質については調査を行い監視していくとともに、必要に応じて対策を行っていきたいと考えています。

山田川アンケート結果のまとめ

山田川流域にお住まいの全世帯（313 戸）に対してアンケートを行い、151 戸（約 48%）の方から回答をいただきました。その結果を要約すると次のとおりです。

１.「川への関心」に関する回答結果

回答者の 76%の方が、山田川に対して親しみや愛着を感じておられます。

山田川へは約 9 割の方が行かれたことがあり、回答者の約半数の方は 1,2 週間に 1 回程度以上山田川に行かれています。山田川へ行かれたときにされることを回答数の多いものから示すと、「農業用の取水」（18%）、「洪水を見た」（16%）、「水不足を見た」（15%）、「散歩」（12%）、「釣り」（11%）であり、山田川は流域にお住まいの人々の生活と密着した川であり、山田川への関心が高いことがうかがえます。

２.「現在の川について」の回答結果

現在の山田川で満足、安心されている点は「川の風景」（15%）が最も多く、続いて「水不足にならない」（12%）、「特にない」（12%）、「水質」（12%）、「普段の水量」（12%）、「動植物の豊かさ」（11%）となっています。

不満、不安な点は「水質」（21%）が最も多く、「水不足」（15%）、「洪水に対する安全性」（14%）、「特にない」（11%）、「ごみが多い」（10%）で、実際に被害を受けた方は 51 人（34%）です。被害の内容としては「洪水に関すること」（28 人）、「水不足に関すること」（18 人）、「水質に関すること」（7 人）などとなっています。

３.「将来の川について」の回答結果

将来の山田川で大切だと思われている事柄は「水質」（26%）が多く、以下「水不足にならない」（14%）、「川の風景」（11%）、「洪水に対する安全性」（11%）、「水量」（9%）等となっています。

洪水被害を減少させるために必要だと考えられている工事としては「新しいダムの設置」（26%）、「川幅を広げる」（18%）、「川底を深くする」（9%）、「堤防を高くする」（7%）等となっています。

水不足に対して今後行う必要のある対策としては、「新しいダムの設置」（38%）、「地下水の利用」（16%）、「他のダムから水をもらう」（9%）などです。

山田川の自然として残したいものとしては「魚たちがすめる瀬や淵」（52%）が多く、「川の中に残る岩場」（29%）、「川の中にしげる草」（11%）が続いています。

４．自由意見

山田川に対する自由なご意見は、82 名（54%）の方々からいただきましたが、ご意見の内容を整理すると、「ダム関連」、「環境」、「治水」、「利水」に大別することができました。

「ダム関連」としては、ダム建設における環境への配慮を望む意見が多くありました。

「環境」に関する意見としては、魚や昆虫などの生物が棲みやすい川にして欲しいとの意見や魚切の滝の環境保全を望む意見などがありました。

「治水」に関する意見としては、洪水に対する安全度の向上を望む意見がありました。

「利水」に関しては、農業用水の不足が起こらないように要望する意見が多く寄せられました。

山田川アンケート結果による整備計画への反映

アンケート結果より、山田川流域にお住まいの方々は山田川に関心が高く、現状の「川の風景」や「普段の水量」に満足されているものの「水質」や「水不足」で不安に思われている方が多くおられます。将来の山田川では「水質」を大切だと考えておられる方が多く、「水不足」、「洪水被害」に対しては「ダム建設」が有効な対策であると多くの方が考えておられます。ただし、ダム建設など河川整備においては環境への配慮を望まれておられる方が多い結果が得られました。

今回、山田川の河川整備においては、山田川ダムの建設により、洪水防御及び流水の正常な機能と水道用水の供給を行いたいと考えています。ただし、水質など環境に配慮することを望まれている方が多く、また、前回の検討委員会においてもダム建設における水質への影響に関して考慮するようご意見をいただいていることから、水質については調査を行い監視していくとともに、必要に応じて対策を行っていきたいと考えています。

御調川フリーアンサーの集約

１．一般層向け

（1）利水関連

・雨が少ないときは水が少なくて水不足になる。

・野菜の泥落とし等に川水を使用していますが、河川工事(特に水の少ないとき)の汚れが数日も続くと使えなくなる。

・御調ダムを活用して、年間を通じ、川の水量を平準化させてほしい。

（2）治水関連

・野間川と御調川の合流点は水害が起こる危険を感じる。

・梅ノ木橋の高さを 1m上げてほしい。

・安全な川であることを要望。

・常安橋付近の流れは洪水時に逆流するので改善してほしい。

・僧殿町～篠根町～三郎丸までの川幅を広げるのがいいと思う。

・遊水地をつくって水害対策をしてほしい。

・落合橋を何とかしてほしい。橋より上流の人は大雨の時は不安である。

・川底に堆積した土砂で洪水の心配があるため、その対策を。

・避難場所の第三中学校の体育館が洪水で浸水したことを広報で回答してほしい。

・川にはヨシはいっぱいで川が埋まっているので対処してほしい。

・堤防を高くしてほしい。

・河南新橋の上流には破損したところが多いので堤防の補強工事をしてほしい。

・芦田川との合流付近の川幅を広げてほしい。

・大雨の時に農業用水路から川に水が流れないので床下浸水してしまう。

・藪の竹に増水時にゴミや木片が引っかかり、流れが悪くなっている。

（3）環境関連

・河川敷は川遊びができるようにしてほしい。

・御調川は汚れている。

・昔は自然が豊かで魚も多かった。今後はできる限り自然を活かした川にしてほしい。

・堤外地に畑になっているところがある。

・河川清掃をして、昔のように自然で水遊びのできるようにしてほしい。

・魚類の生態系に配慮した河川となるようにしてほしい。

・生活用水が流入してきたない。

・川に親しめるように階段を作ってほしい。

・川の周辺にゴミを捨てる人がいる。
・堤防は散歩道として利用できるようにしてほしい。
・ブロック護岸は風情がない、護岸には自然のものを使ってほしい。
・背丈以上にもなる草が茂っていて気持ちがわるい。
・メダカが泳ぎ、サクラが咲く川にしてほしい。
・ドブのように臭い。
・エビがとれた頃のようにしてほしい。
・車椅子でも散歩できるような整備をしてほしい。
・泳げるような川にしてほしい。
・地域のみんなで協力し合って川の清掃をしてほしい。

(4) ダム関連

・ダムは御調川周辺の人に不要。
・近年の水害はダムのせいである。
・ダム放流時のサイレン(非常用)を三郎丸町付近にも設置してほしい。
・1998 年 10 月のダム放流時に道路の破損に注意してほしかった。
・ダムの完成により水量が少なくなり、水質が悪化しているように感じる。
・大雨時に一気にダム放流するのではなく、貯水、排水の調節ができるダムの新設が必要。

(5) その他

・川底の砂利をもっと深くとってほしい。その時は付近住民に説明会を開いてほしい。
・河原に木材置き場等を物置代わりにしないで、遊び場にかえてほしい。
・僧殿橋付近は消防車が川に降りられるようにしてほしい。
・下流の整備をしてほしい。
・きれいな川にするため、地域住民に川の必要性についてもっとＰＲしたほうがいい。

２．若年層向け

（1）利水関連

・年々川の水量が減っているように思います。干上がらないように川を守って下さい。

（2）治水関連

・御調川最高。ポルが最近いなくてさみしいです。台風の日の洪水はどうにかして下さい…。

・ダムが治水になっていない。平成１０年の災害もダム放流が原因。いつ洪水が起きてもおかしくない。統一された河川整備が早急に必要である。

（3）環境関連

・きれいにして欲しい。昔の生態系に戻して欲しい。

・数年前よりもホタルが少なくなリ、ゴミが多く見られるようになった。川の清掃をしたり、自然を残すことが大切だと思う。

・コンクリートで淵を固めるのではなく、昔のように岩・石などを重ねて造って欲しい。

・昔は遊べていたが、今は汚いので遊ぶことができなくて悲しい。

・子どもの頃によく釣をしたり水遊びをしていたので、その場所をできれば安全にして水遊びができるようにして欲しい。（特に谷尻建設の前）

・昔のように、きれいで魚が多くいる川に戻して欲しい。

・最近、ゴミが多いなとよく思う！！

・少し水の色が汚れているのが目立ちます。魚も減っている気がします。釣をする人が少なくなっているので、もっときれいにしていく努力が必要だと思います。

・いきいきロード周辺に公園などがあれば御調川に親しむ人も増えるのではないか。

・昔に比べ水質が悪くなったように思う。

・もっときれいにしたほうが良い。

・釣がしたい。

・マラソンでいきいきロードを走っている時、水鳥を何羽か見て、自然豊かな所だと思ったので、そういう所は残して欲しいと思う。

・魚や生き物が住めるようにしておくべきだと思います。

・現況をずっと残せれば良いと思う。

・昔よりいろんなところが変わったと思う。魚も少なくなった気がするし、水も汚くなったと思う。

・御調川を昔のようにきれいな川にして欲しい。

・水のきれいな御調川になって欲しい。

・小学生の頃は夏になると毎日川に入って遊んでいたので、魚が住める場所を大切にして欲しいです。
・子供の頃はよく川に行って遊んでいて水もまあまあきれいだったが、今は汚れているのできれいになると人々が気持ちがよくなると思う。
・今は、ごみが捨ててある所があって少し汚ないような気がする。川鳥たちもきているのでごみを取りのぞいてきれいな御調川にしたほうがいいと思う。
・小さい頃は、よく川の中に入った。
・水質が悪く、いざ遊ぼうとなった時、かなり抵抗がある。動物なども少なく、ゴミが多いので清掃等が必要だと思う。
・川の近くの草むらに行こうとしたら、下りる階段でけがをしそうになった。どんな人でも安全に近づけるようにして欲しい。
・昔は普通に川に入って遊んだりしていたけど、今は川が汚れたり、草が多くて行けない場所があって残念です。散歩の時に少し寄れるくらいの川にして欲しいです。
・川にゴミを捨てない。川をみんなできれいにしていきたい。
・子供の頃よく御調川で友達と魚をつかまえたりして遊んでいた。
・昔のように川がきれいで生物がたくさんいる川を残したい。
・汚いのでもっときれいにして欲しい。
・水不足を少なくして、動物が住めるようにして欲しい。ゴミをなんとかして欲しい。
・子供の頃はよく遊んでいたので、ゴミの無い御調川になって欲しい。
・もっと水をきれいにして欲しい。
・水質が汚いという評判を回復するよう水質浄化を望む。
・堤防敷にいきいきロードが建設されており、そこにコミュニティーが生まれている。水の流れと調和し、景観がよい。
・平の辺りの護岸に、初秋になると一斉に彼岸花が咲くのを楽しみにしています。ラーメン一平前の桜も素晴らしいと思います。花にあふれた御調川になることを希望します。お花見などができるスペースがあるとよりいいと思います。
・子供が川で遊んでいるところを見たことがない。私達の時代は、川は大切な遊び場所だった。（ＴＶゲーム等が普及し、子供が少なくなった事もあろうが…）現在はどこも子供の安全はないのかも。事件、事故があまりにも多いすぎる。
・小さな子どもでも、安心して川遊び（水遊び）ができる様なエリアがあれば良いのではないでしょうか。
・洪水対策等の整備は必要ですが、ホタルが毎年多く見られるので、出来るだけ、今のままの自然を残していくべきではないかと思います。また、川に親しむという所から魚釣り大会等の案もあるとは思いますが、近年魚釣り＝バスフィッシングというイメージがあります。今

のままの自然を残す為には、外来魚の対策を考えてみても良いと思います。

・御調川の辺に散歩道を作られた事は良い事だと思いますが、前年ガードレールがない所で車ごと川に落ちられた事故があったため、川の周りは全てガードレールを取りつけて欲しい。また、お年寄りの方が川の辺に居住していることもあって、何人か川に生ゴミを投げ捨てているため、投げ捨てないよう何か工夫をして欲しいものです。

・ザリガニや川ガニ、ホタルをもう一度呼びもどそう。

・子供の頃は、御調川でよく魚釣りをしていたものです。最近、御調川で魚釣りをする子供はめっきり少なくなってしまいました。子供の頃から、生物と親しむことにより、命の大切さ、重さを感じる子供として育って欲しいものです。安全を考えて、川を整備するのも良いでしょうが、田舎ながらの川を存続して欲しい。

・上流部に住んでいますが、下流になるにつれ、ゴミ等が増える様に思います。これは、下流部の方々が多くのゴミを出すのではなく、私達の地域で出たゴミ等が集まってしまった結果だと思います。広い範囲での協力により、清掃活動や呼びかけをするべきでしょう。また、子供の頃よりの教育も大切だと思います。地区の川に親しみ、きれいにしようとする心を育てていけば、ゴミも減るのではないでしょうか？

・子供の頃はよく川で遊んだ。今より魚の種類も多く、ザリガニやナマズ、カメ等もたくさんいた。学校で「川で泳いではいけない」と言われていたのに泳いだりして、先生にこっぴどく怒られた事など思い出される。自然や魚等を守る事と治水の両立というのは難しいかもしれないが、うまくやって欲しいと思います。

・魚がたくさんいるような、きれいな川にしていきたいです。

・川が家の近くにあるため子供のころは毎日のように魚つりなどをしてたのしかった。いまの御調川を見るととても悲しい気持ちになる。魚のすがたは前ほどなく川などであそぶ子供のすがたもみられない。

・子供たちが川と触れ合いやすい環境づくり。

・整備して、川と接しやすい場にしてもらいたいが、整備することによって生物の居場所がなくなってしまったり、逆に水質を悪くさせてしまうのは嫌だ。生物の生息する場を確保しながら、整備を行ってもらえたら良いなと思います。

・子供の頃はよく川に入って遊んでいたが、川の側にも近づくことがなくなったように思います。川の汚れ、整備（川の周りの草等）のみが問題ではないと思いますが、芦田川の周りがきれいに整備されたように、御調川もなれば利用者が増えると思う。

・御調に住んで３年なので、御調川へ愛着があまりわかないのが正直なところです。しかし、水質をきれいに保ち、安心して私たちに水を供給出きるよう望んでいます。

（4）ダム関連

・御調ダムが出来たため洪水対策にはなっていると思いますが、水量が全体的に少なくなり、

川の流れがなく昔のようにきれいでない。昔は泳げるぐらいの水量があった。神から中央小学校までの間がとくに流れがあまりなく汚く臭うこともある。

・ダムにより生態系が変わって、悪くなったという者も少なくないが、ダムは住民にとって水源を安定させる大切な施設だと思う。今の状態をよりよくするために住民と行政が協力し、環境を整備すれば良いと思う。

・年に２回ぐらいダムから放水し、腐ったコケなどを洗い流し、魚等が住み良い川にして欲しい。

（5）その他

・小学校までは川へ遊びに行っていたが中学校　高校になってからは行っていません。

・みつぎにすんでないので、なにもありません。

・川は素敵です。

・地元の人間ではないので分からない。

野間川フリーアンサーの集約

１．利水関連

・農業用水として継続的に利用したい。

・昔、魚釣り・水遊び・飲料水としての利用があった。

・上水道として利用したい。

２．治水関連

・野間川と御調川の合流地点は水害が起こる危険を感じる。

・野間川下流の河川改修ばかりでなく、上流の河川改修をして欲しい。

・安全な川であることを要望。

・御調川の合流点の護岸を強化して欲しい。

・野間川上流の未整備区間の改修工事をして欲しい。

３．環境関連

・昔は自然が豊かで魚も多かった。今後はできる限り自然を活かした川にして欲しい。

・上流にゴルフ場ができて、水量が減少している。

・河川清掃をして、昔のように自然で水遊びのできるようにして欲しい。

・魚類の生態系に配慮した河川となるようにして欲しい。

・生活用水を流さない清らかな川にすれば魚やホタルが帰ってくると思う。

・川と親しめる河道の改修をして欲しい。

・野間川上流で土木廃棄物が捨てられている。

・昔はいなかったブラックバスがいる。

・農業集落排水を合併槽にして水質を良くして欲しい。

・生態系に配慮したコンクリートで固めないで欲しい。

・護岸には自然のものを使って欲しい。

・ゴルフ場から流出する水は野間川に流入しないことを要望します。

４．ダム関連

・ダムをつくって水道用水として利用したい（久井町）。

・農業用水として水不足が心配なのでダムをつくって欲しい。

・ダムは必要、大池から野間川の砂防河川区間の河川改良の計画も要望。

・水不足解消のためダムを早期着工して欲しい（久井地区）。

・生活ダム建設に賛成、早期実現を期待。

・ダム建設により過疎の町から観光地に変わることを期待。

・ダム建設時には周辺の道路、公園、林道、観光、森林、家庭排水整備等の推進。
・ダム建設による取り付け道路が合理的に生活に密着した道路であれば賛成。
・ダムの建設とともに河床幅を広くすることを要望。
・ダム完成後、放流による下流の汚れがないことを要望。
・ダム建設時には下流の環境整備を要望。
・ダム予定地に水没する石仏があります。残してください。
・御調川は御調ダムができて水質が悪くなった。野間川もダムができると心配。
・ダム完成とともに川底の工夫で昔の自然豊かな生態系を取り戻す努力が必要。
・ダムによる水不足が心配（久井町に水を引くらしいので。）
・ダムができると水の流れが緩くなり魚介類の生育の場が少なくなる。
・ダムができるとダムに来るバス釣りの人で交通渋滞やゴミ増加の問題がでる。
・現在は水が汚れ、砂やゴミが堆積。ダムが出来てもきれいにならないと思う。

５．その他

・洪水にならないように川底を深くして欲しい。
・川にすむ生き物や天然記念物の岩海のことを考えてもらいたい。
・吉田の大池の堤がきれたら大洪水になるときいている。

山田川フリーアンサーの集約

１．利水関連

・改修以来、水害がなくなったが、用水が不足がちである現状を改善して欲しい。

・水量が少ないので水利権者が有効に取水できるように、施設の改修を行うべきである。

・ダムができることは良いが、農業用水としている所から外地区に水を送ることは困る。

・農業用水の不足が起こらないようにして欲しい。

・平成 6 年 7～8 月に水不足が起こった。

・4～5 年前（平成 6 年）に田んぼの水が足りなくなった。

２．治水関連

・昭和 54 年の地区構造改善の時には川幅は大丈夫といわれたが、それ以後も水害がある。

・上流部のブロックの基礎部分やフトン篭が流出した所があるので対策を。

・芦田川合流地点の河道整備で水害のない山田川を。

３．環境関連

・ホタルや魚（ウナギ）のすみやすい川にして欲しい。

・魚切の滝の環境を保全して欲しい。

・魚切の滝の現況を残して公園化して欲しい。

・川岸にカワセミの巣をつくって欲しい。

・ゲンジボタルが飛び交うようにして欲しい。

・上流の産業廃棄物投棄による河川の汚濁をなくして欲しい。

・魚の多く見られる川にして欲しい。

・清流を復活して欲しい。

・下谷、桑原間の現況を保全して欲しい。

・災害に影響がでない自然は、できるだけ保全して欲しい。

・地域のみんなで協力し合って川の清掃をしたいものである。

４．ダム関連

・天然の山田川がダムにより環境が変わるのが心配である。

・ダムの下流の環境整備の計画もお願いしたい。

・ダムと一体となった自然を残した河川環境整備をして欲しい。

・浅瀬をつくって水遊びのできる水域が欲しい。

・ダムが完成しても、今と変わらない米づくりの風景や川の風景など見られ、河川環境が良くなるように。

・ダム周辺環境整備で環境の良い川や貯水池をつくることが大切。

・コンクリート張りの護岸より昔の流れの方が良かった。ダムは、反対。

・ダムの早期着工を期待する。魚切の滝の整備を望む。

・上流にダムができたために、下流の自然な川の景観や貴重な動植物を失われないように望む。

・ダムができることは大変良いと思うが、下流の環境整備を望む。

５．その他

・下流の整備をして欲しい。

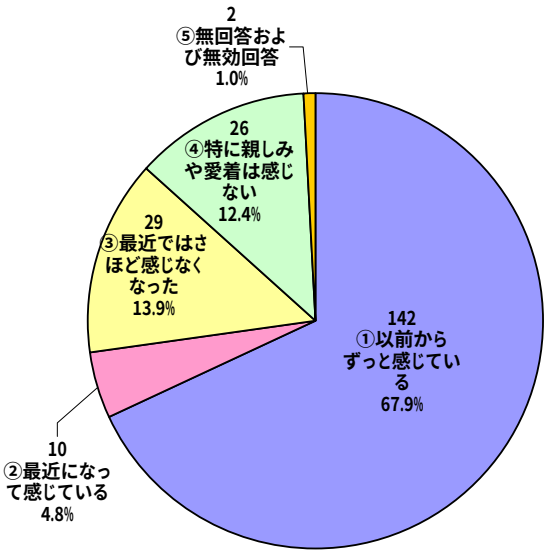
・きれいな川にするため家庭排水等の浄化装置の必要があり国が助成して欲しい。

・治水整備、農業用水路施設の整備、橋の改修などを要望。

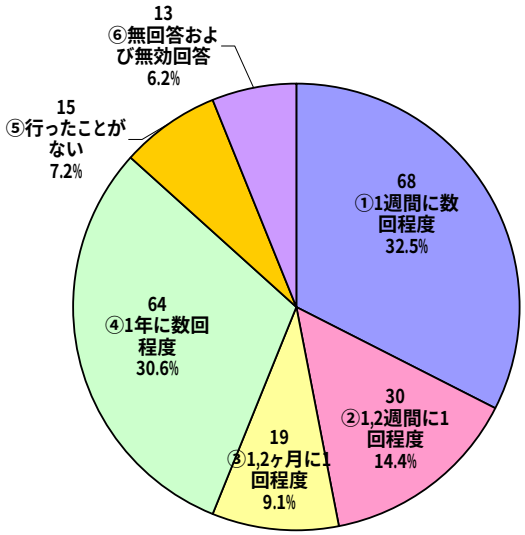
御調川アンケート集計結果

１．一般層向け

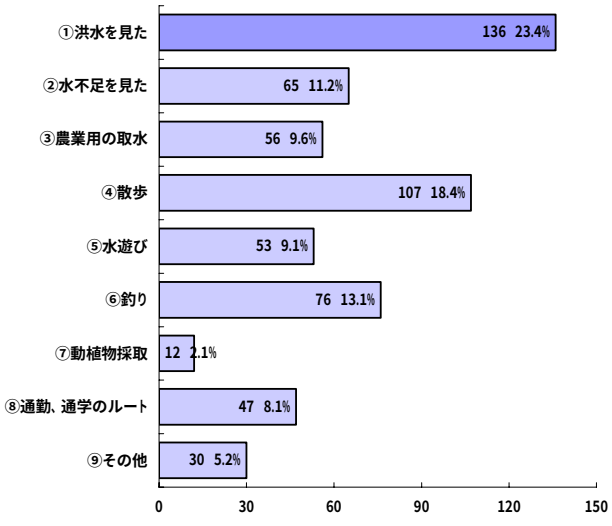
質問-1.　御調川に親しみや愛着を感じますか。



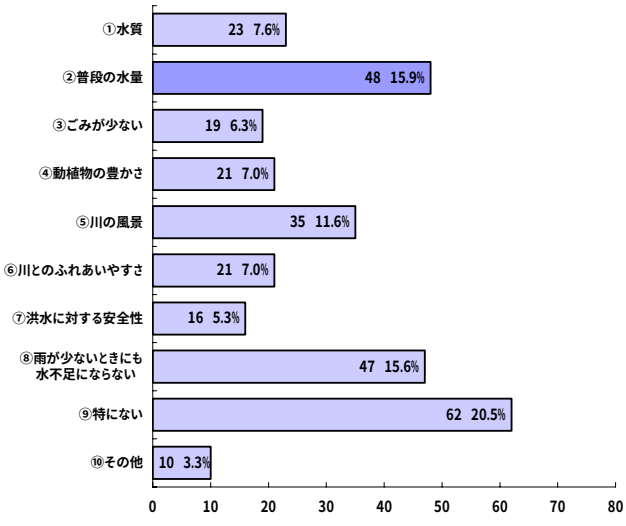
質問-2.　御調川へどの程度行きますか。



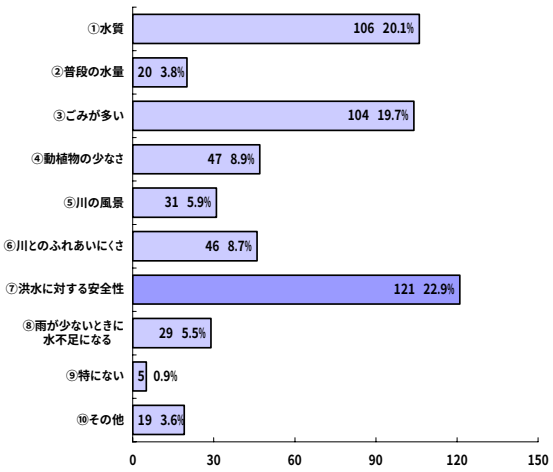
質問-3.　御調川に行ったときにしたことは何ですか。いくつでも回答してください。



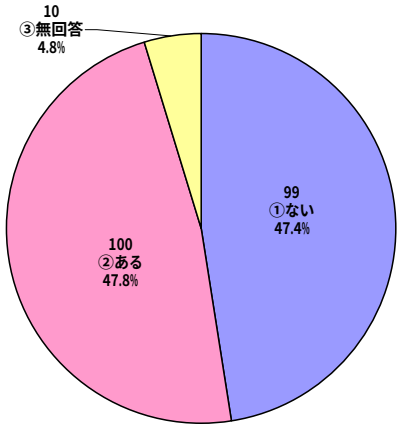
質問-4.　現在の御調川で満足、安心されている点を以下より選んでください。いくつでも回答してください。



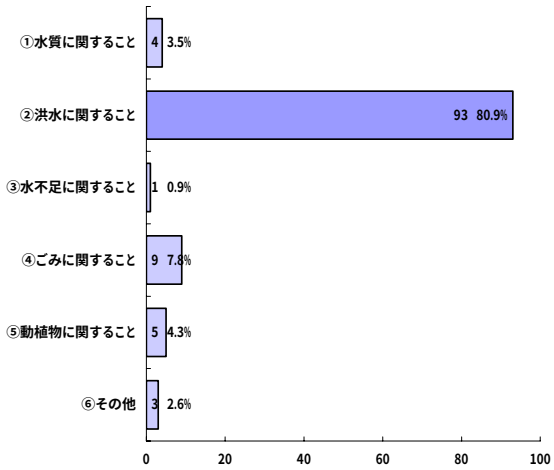
質問-5.　現在の御調川で不満、不安な点を以下より選んでください。いくつでも回答してください。



質問-6.　御調川より被害を受けたことがありますか。

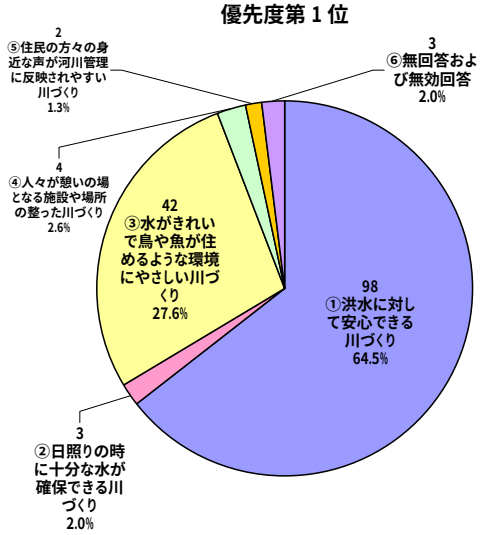


質問-7.　質問-6 で「ある」とお答えの方は、どのような被害を受けられたのかお書きください。

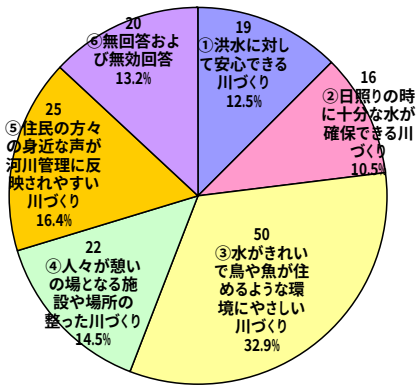


質問-8.　御調川の河川整備を行う場合に期待されることは何ですか？(平成 17 年 3 月実施分)

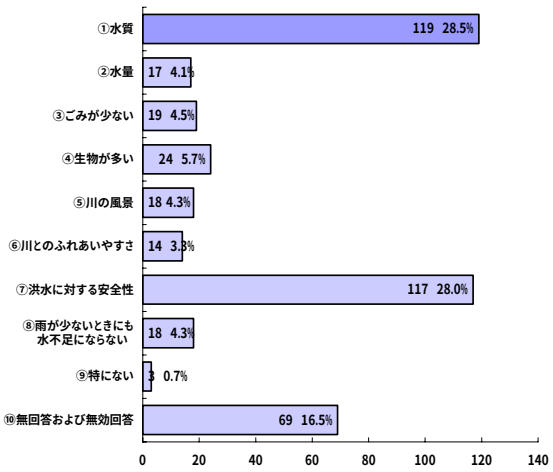
優先度第 1 位



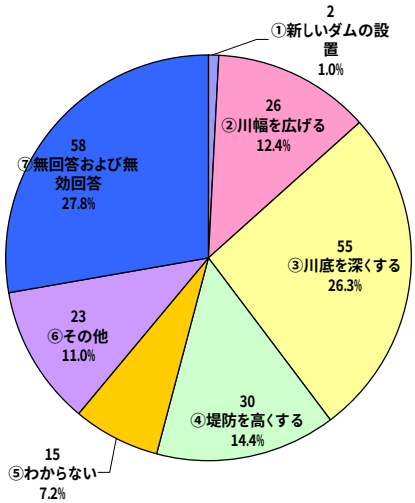
優先度第 2 位



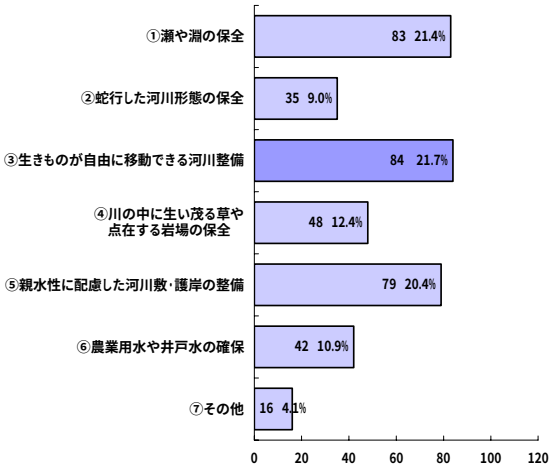
質問-9.　将来の御調川で大切だと思う点を以下より 2 つ選んでください。



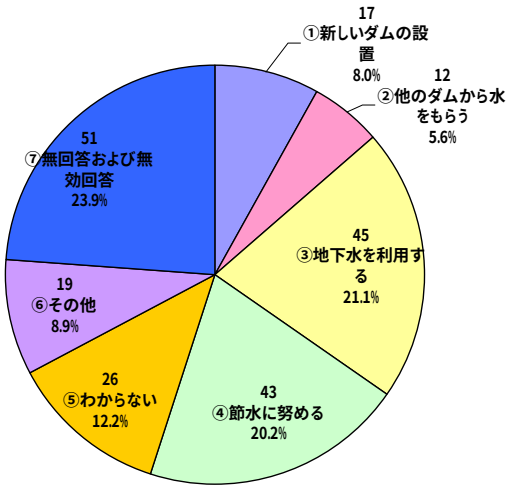
質問-10.　御調川において洪水被害を減少させるためには、今後どのような工事が必要だと思いますか。



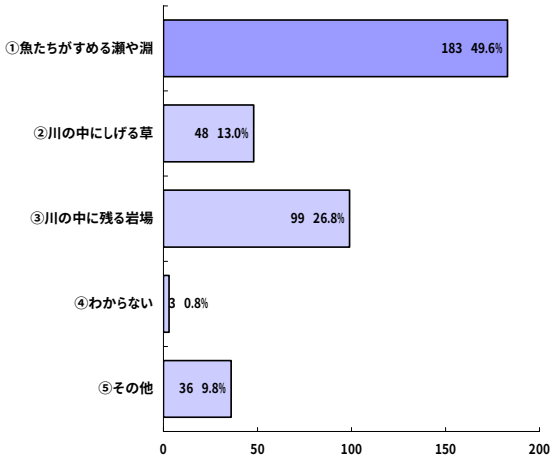
質問-11.　河川断面を大きくする為に川幅を拡げたり川底を掘削することとしています。この計画について特に配慮する必要があると思われることを以下の項目より選んで該当する番号を○で囲んで下さい。いくつでも回答下さい。(平成 17 年 3 月実施分)



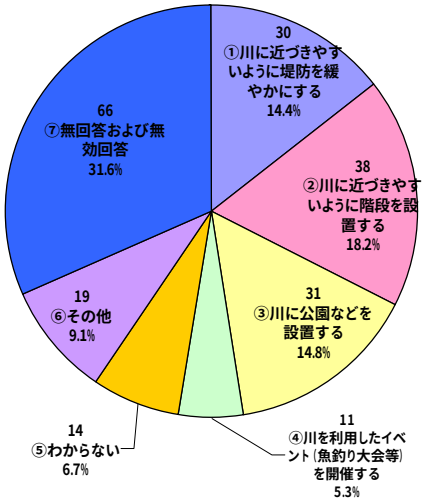
質問-12.　御調川における、水道用水の利用や水不足に対して、今度どのような対策をたてる必要があると思いますか。



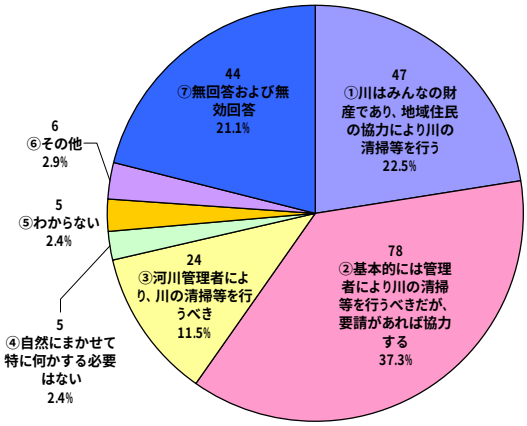
質問-13.　御調川の自然で、今後残したいものを以下より選んでください。いくつでも回答してください。



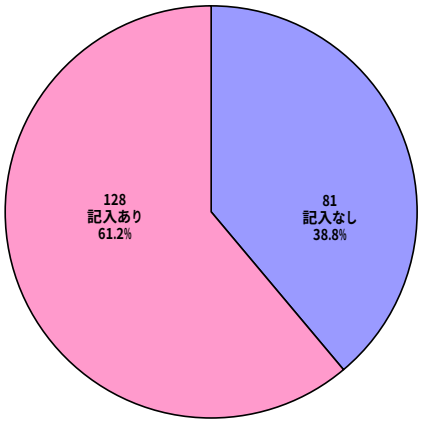
質問-14.　人と御調川が親しむために、どのようなことが必要だと思いますか。



質問-15.　御調川の管理(清掃等)は、どのように行うのがいいと思いますか。

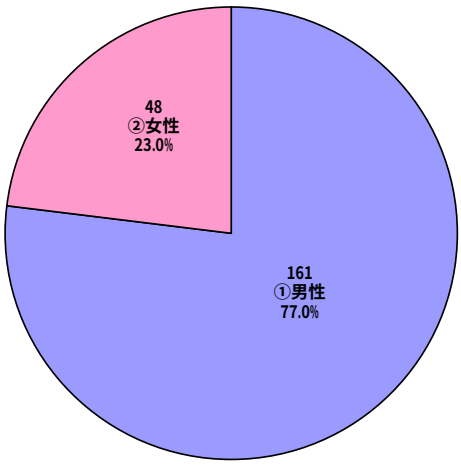


質問-16.　あなたの御調川への意見をお聞かせください(子供の頃のことや整備を進めたい箇所や現況を残したい箇所等、さまざまなご意見をお書きください。)。

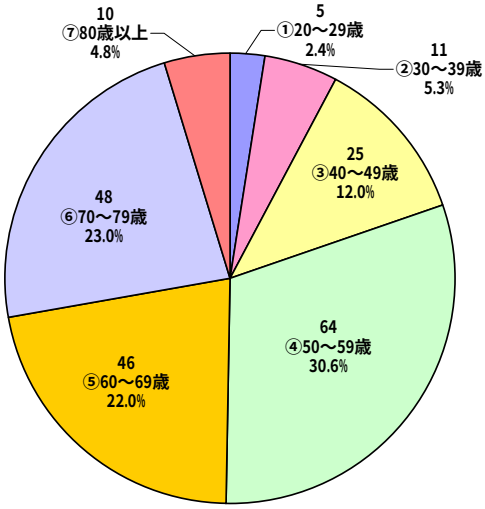


アンケート回答者の属性

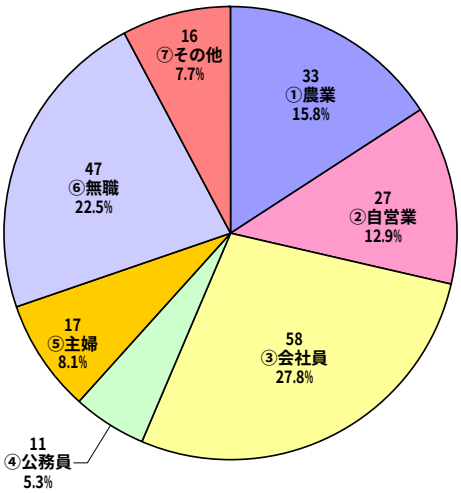
【性　別】



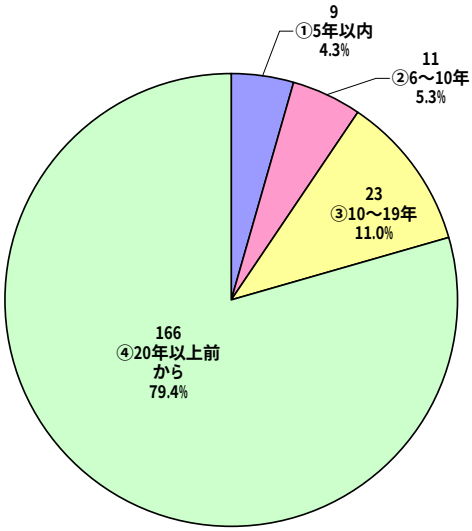
【年　齢】



【職　業】

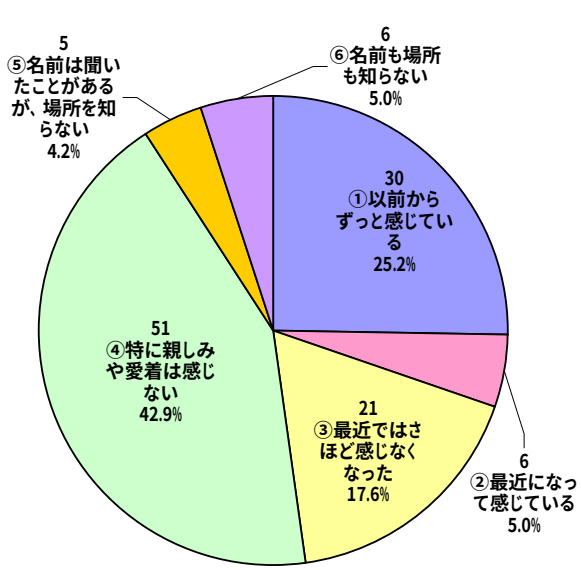


【居住年数】

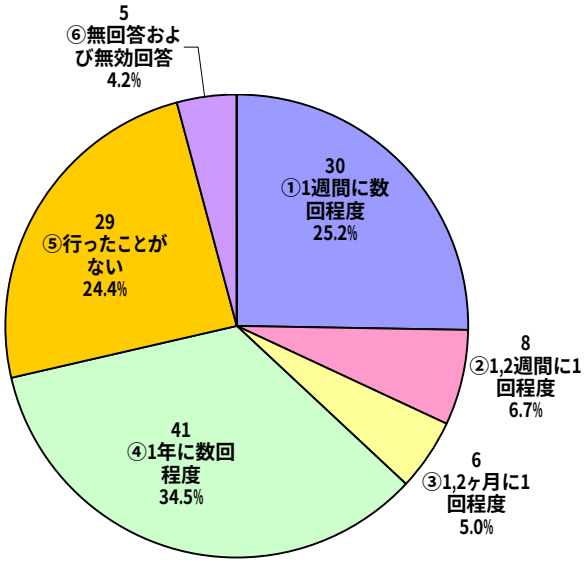


２．若年層向け

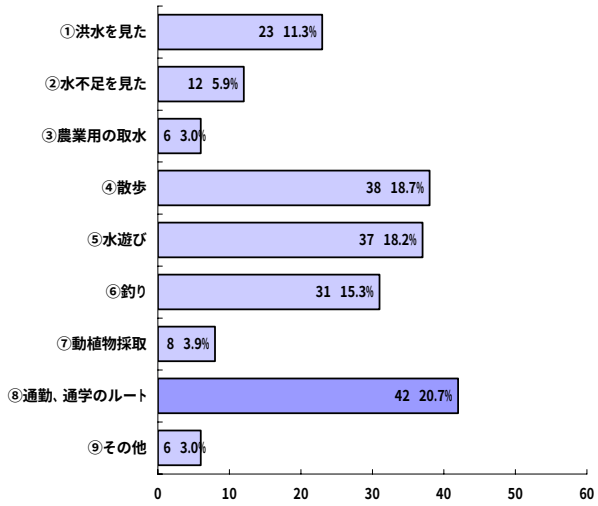
質問-1.　御調川に親しみや愛着を感じますか。



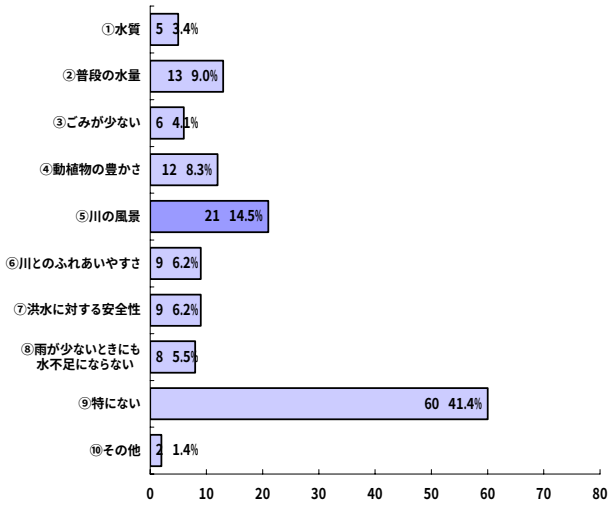
質問-2.　御調川へどの程度行きますか。



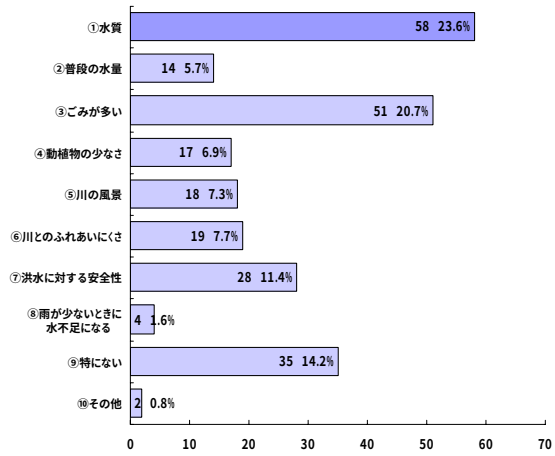
質問-3.　御調川に行ったときにしたことは何ですか。いくつでも回答してください。



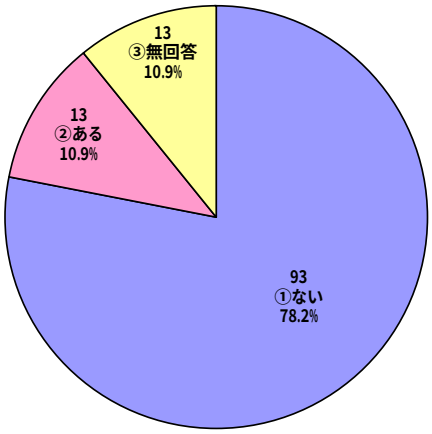
質問-4.　現在の御調川で満足、安心されている点を以下より選んでください。いくつでも回答してください。



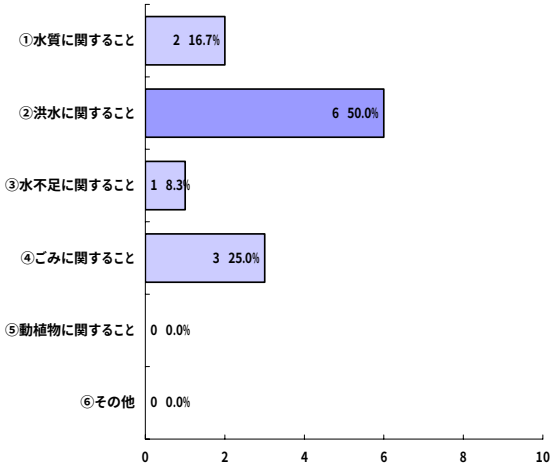
質問-5.　現在の御調川で不満、不安な点を以下より選んでください。いくつでも回答してください。



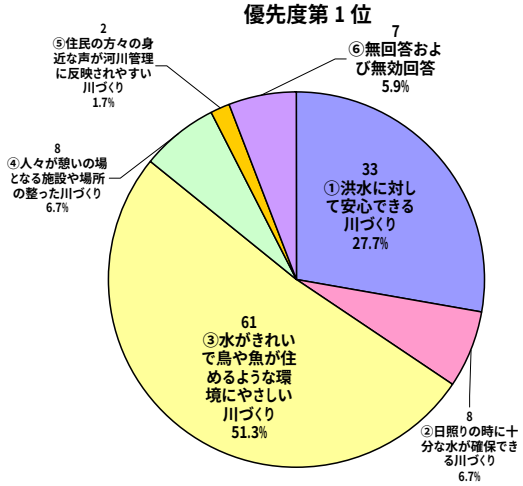
質問-6.　御調川より被害を受けたことがありますか。

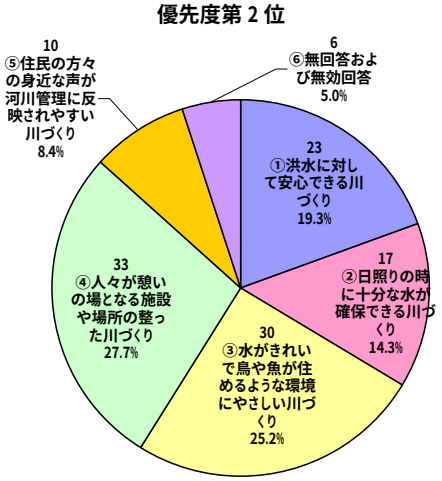


質問-7　質問-6 で「ある」とお答えの方は、どのような被害を受けられたのかお書きください。

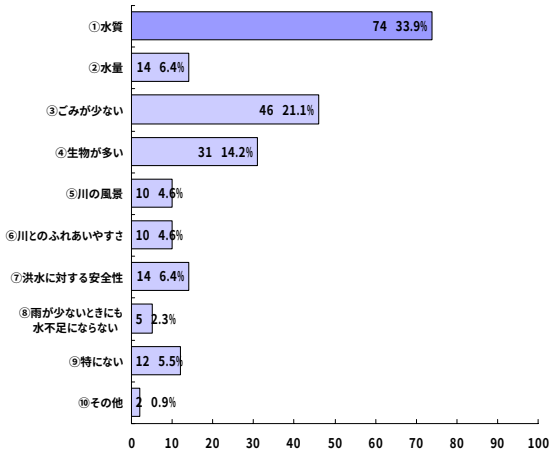


質問-8.　御調川の河川整備を行う場合に期待されることは何ですか？

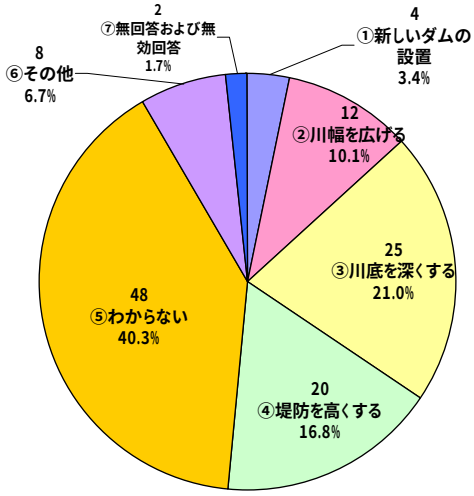




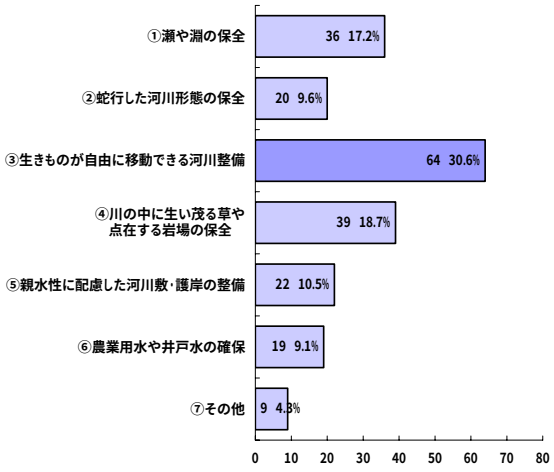
質問-9.　将来の御調川で大切だと思う点を以下より 2 つ選んでください。



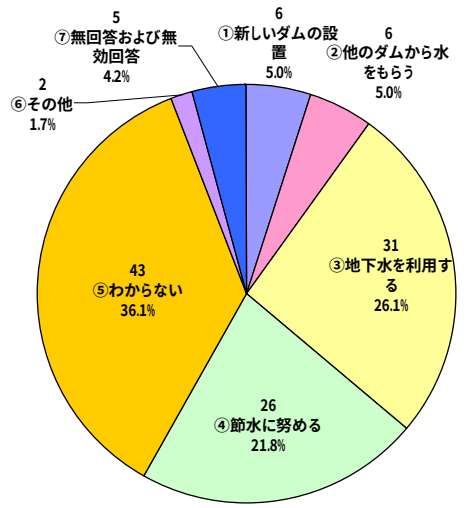
質問-10.　御調川において洪水被害を減少させるためには、今後どのような工事が必要だと思いますか。



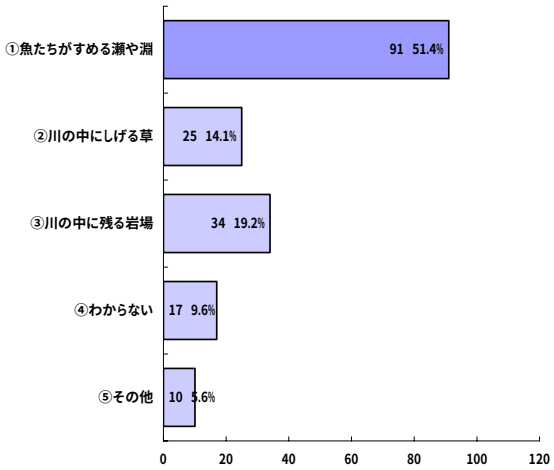
質問-11.　河川断面を大きくする為に川幅を拡げたり川底を掘削することとしています。この計画について特に配慮する必要があると思われることを以下の項目より選んで該当する番号を○で囲んで下さい。いくつでも回答下さい。



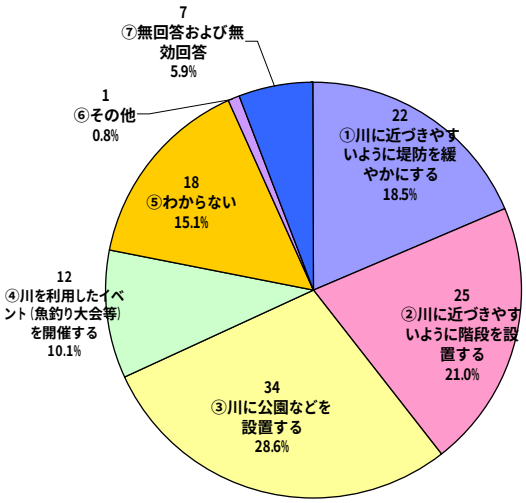
質問-12.　御調川における、水道用水の利用や水不足に対して、今度どのような対策をたてる必要があると思いますか。



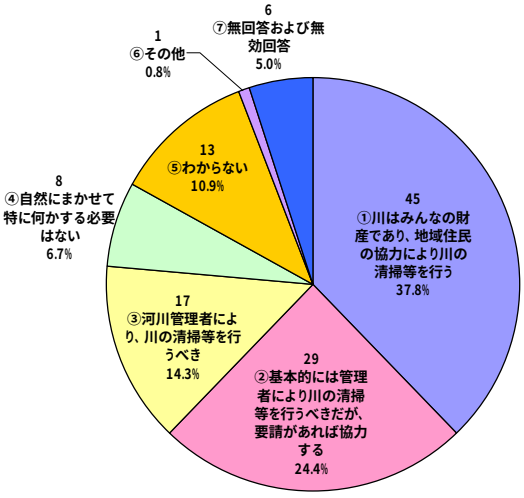
質問-13.　御調川の自然で、今後残したいものを以下より選んでください。いくつでも回答してください。



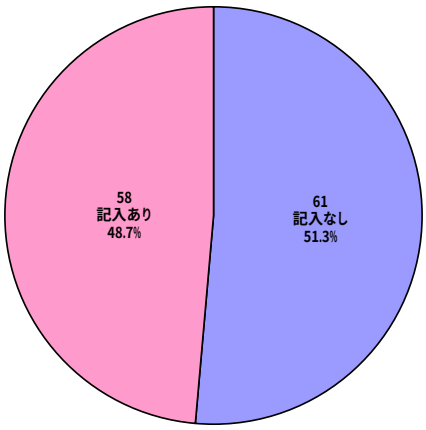
質問-14.　人と御調川が親しむために、どのようなことが必要だと思いますか。



質問-15.　御調川の管理(清掃等)は、どのように行うのがいいと思いますか。

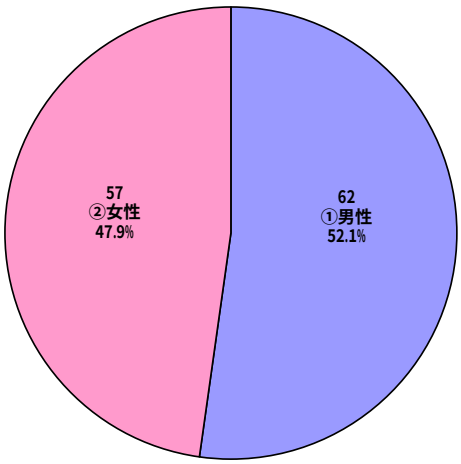


質問-16.　あなたの御調川への意見をお聞かせください(子供の頃のことや整備を進めたい箇所や現況を残したい箇所等、さまざまなご意見をお書きください。)。

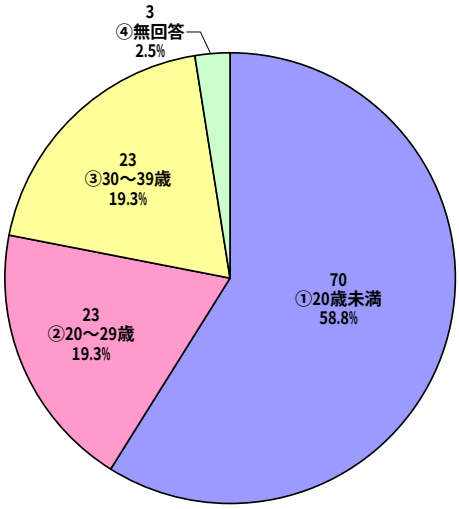


アンケート回答者の属性

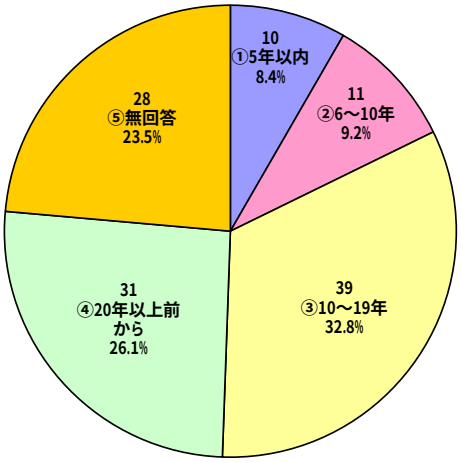
【性　別】



【年　齢】

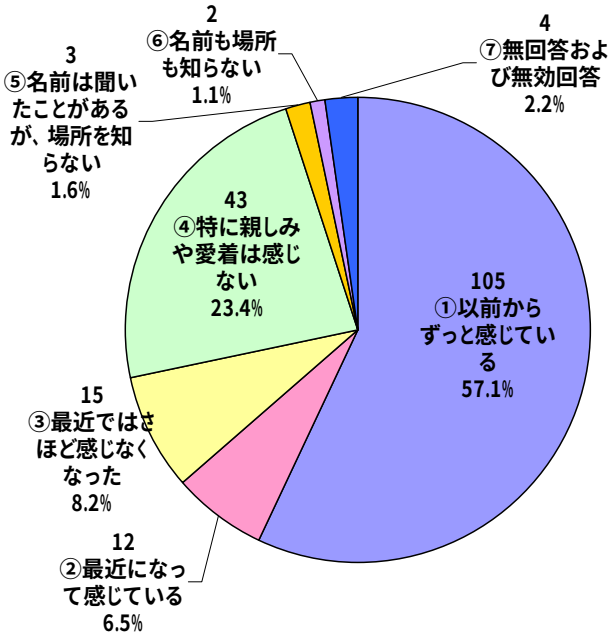


【居住年数】

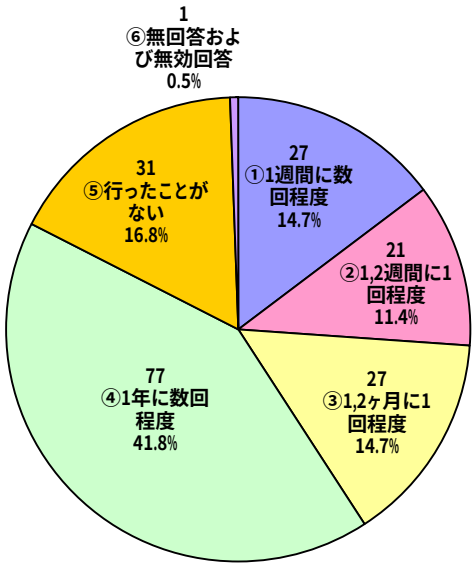


野間川アンケート集計結果

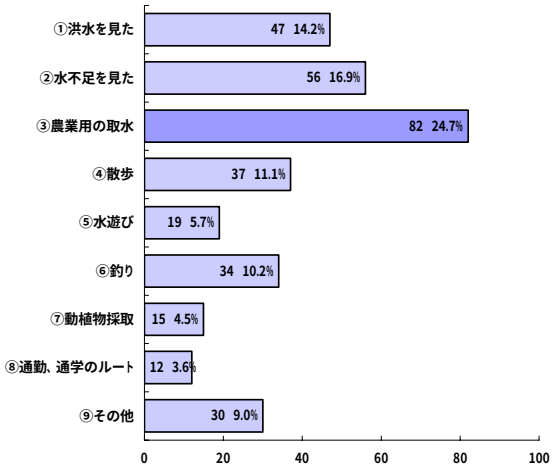
質問-1.　野間川に親しみや愛着を感じますか。



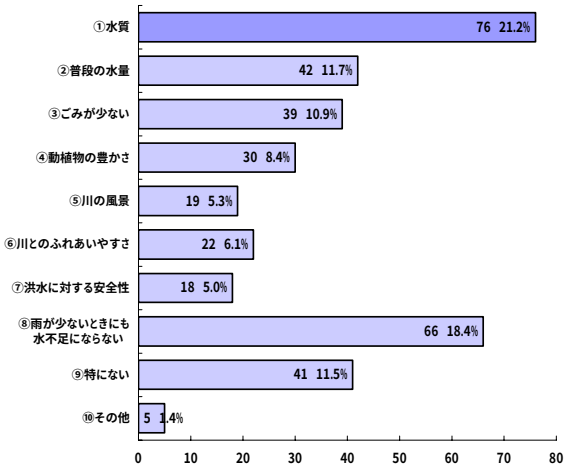
質問-2.　野間川へどの程度行きますか。



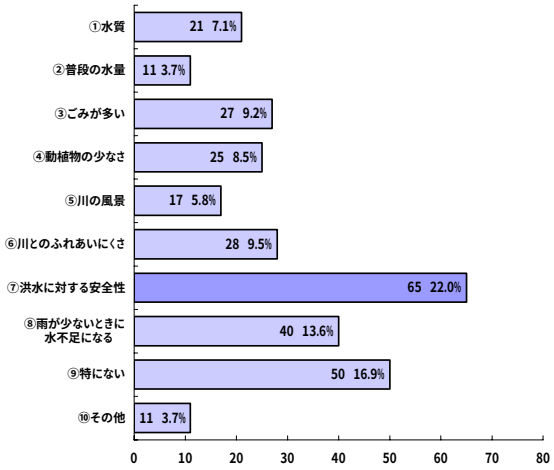
質問-3.　野間川に行ったときにしたことは何ですか。いくつでも回答してください。



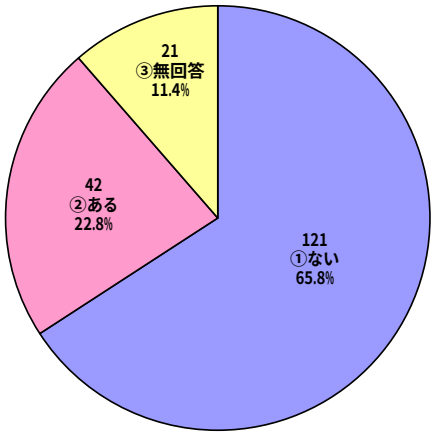
質問-4.　現在の野間川で満足、安心されている点を以下より選んでください。いくつでも回答してください。



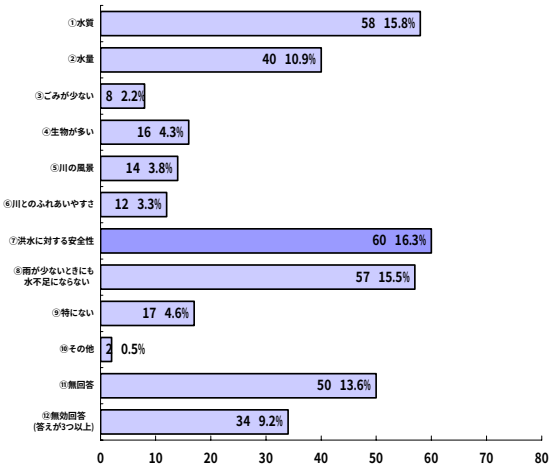
質問-5.　現在の野間川で不満、不安な点を以下より選んでください。いくつでも回答してください。



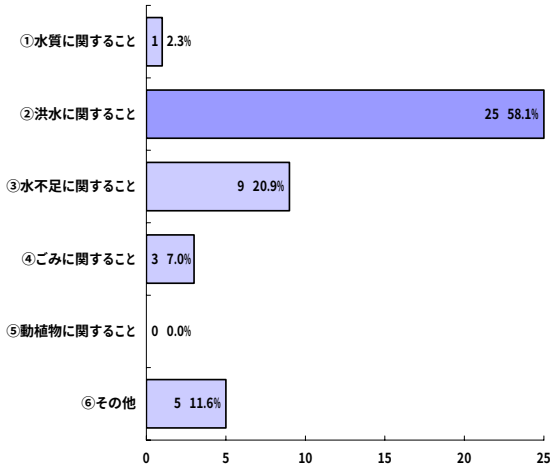
質問-6.　野間川より被害を受けたことがありますか。「ある」とお答えの方は、「いつ」、「どこで」、「どのような」被害を受けられたのかお書きください。



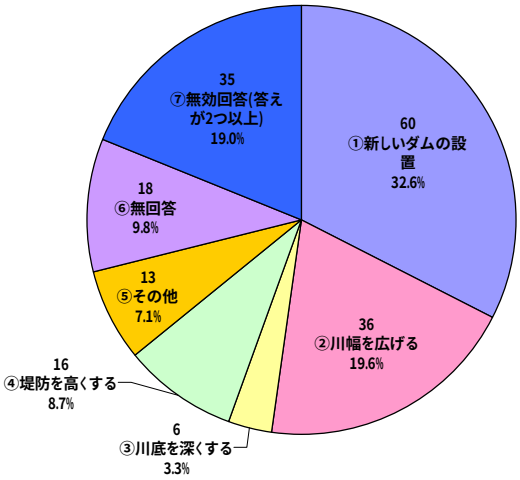
質問-7.　将来の野間川で大切だと思う点を以下より 2 つ選んでください。



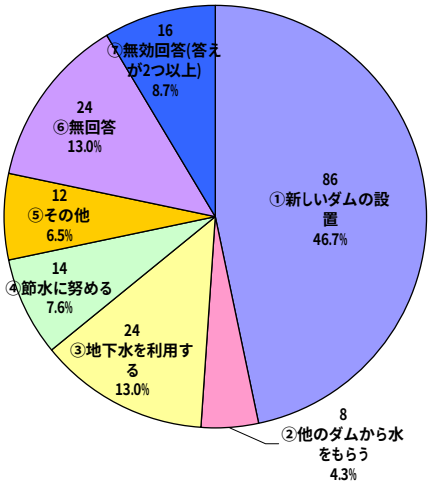
質問-6 の「ある」という意見の内訳



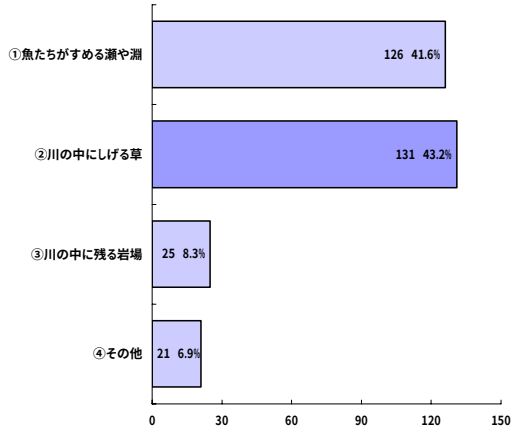
質問-8.　野間川において洪水被害を減少させるためには、今後どのような工事が必要だと思いますか。



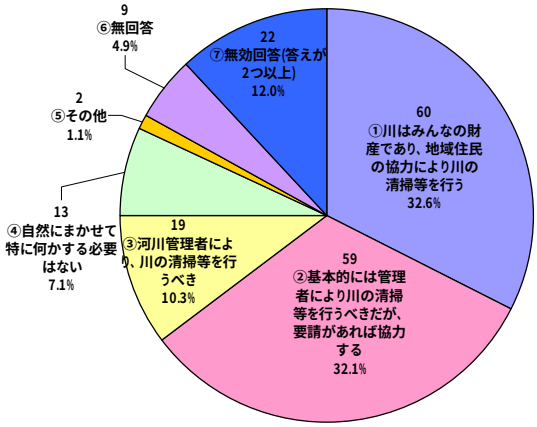
質問-9.　野間川における、水道用水の利用や水不足に対して、今度どのような対策をたてる必要があると思いますか。



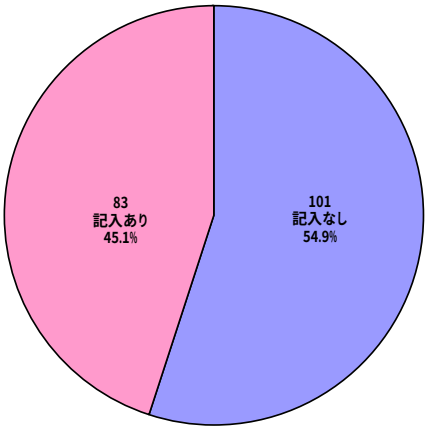
質問-10.　野間川の自然で、今後残したいものを以下より選んでください。いくつでも回答してください。また、その他へは場所やどんな生き物を残したいか、お書きください。



質問-11.　野間川の管理(清掃等)は、どのように行うのがいいと思いますか。

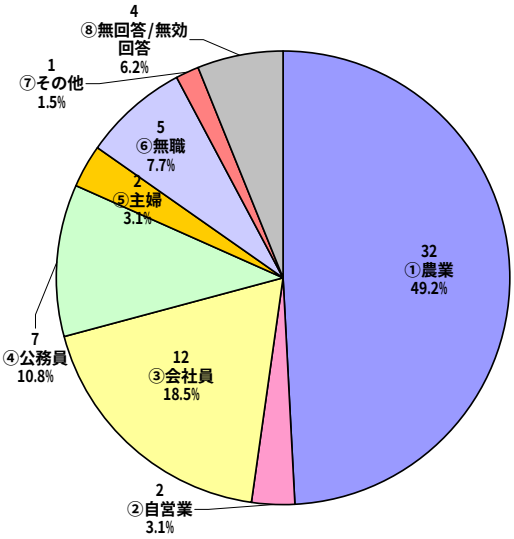


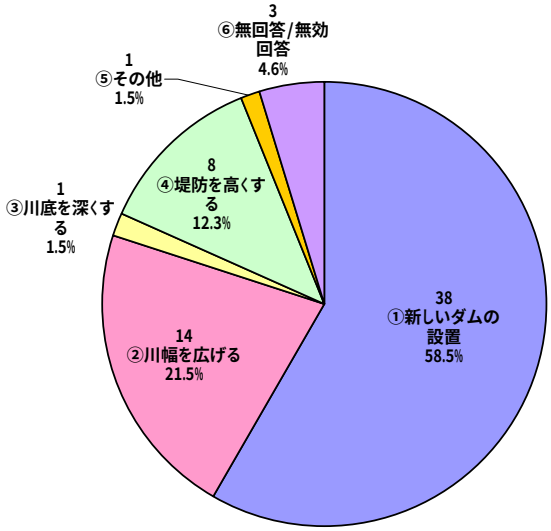
質問-12.　あなたの野間川への意見をお聞かせください(子供の頃のことや整備を進めたい箇所や現況を残したい箇所等、さまざまなご意見をお書きください。)。



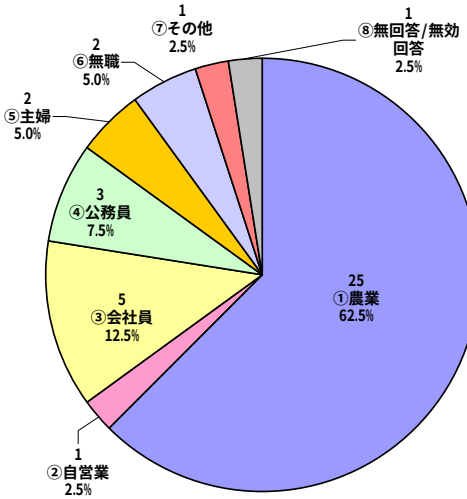
【回答者別の意識格差】

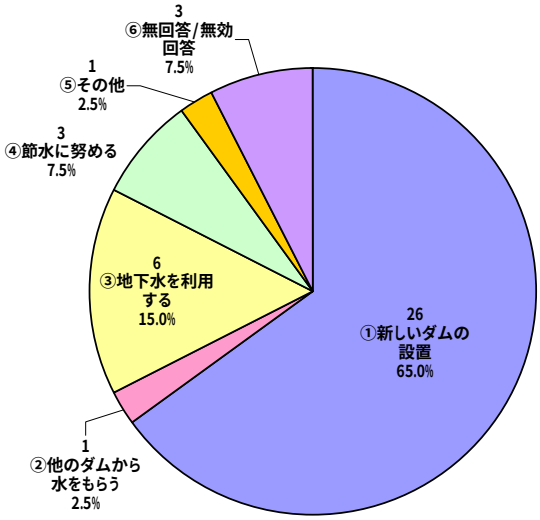
野間川に対する不安・不満な点として、1 位となっている「洪水に対する安全性」をあげている 65 名の職業および対策方法の構成は以下のとおりである。

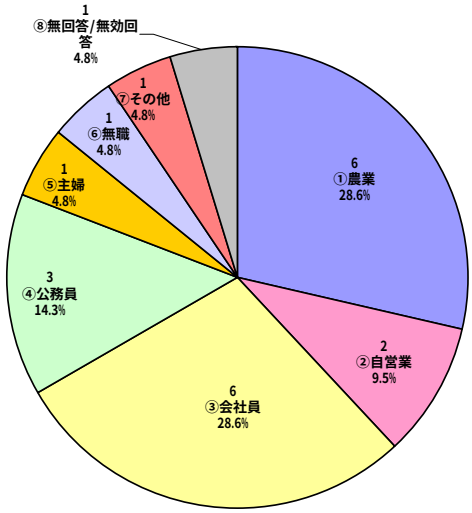




野間川に対する不安・不満な点として、「水不足」をあげている 40 名の職業および対策方法の構成は以下のとおりである。

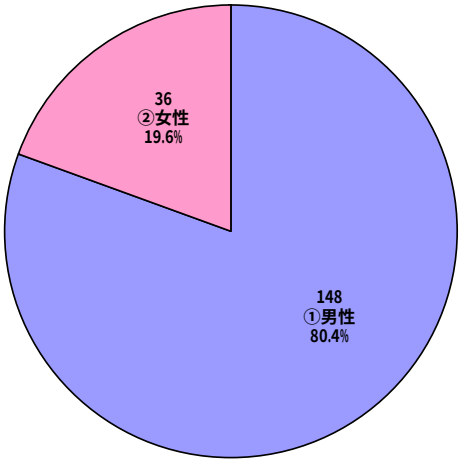




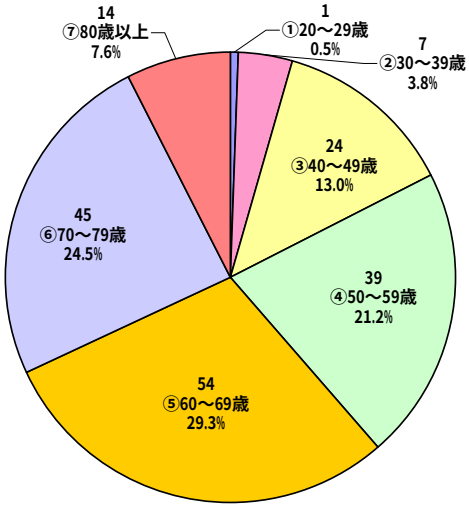


アンケート回答者の属性

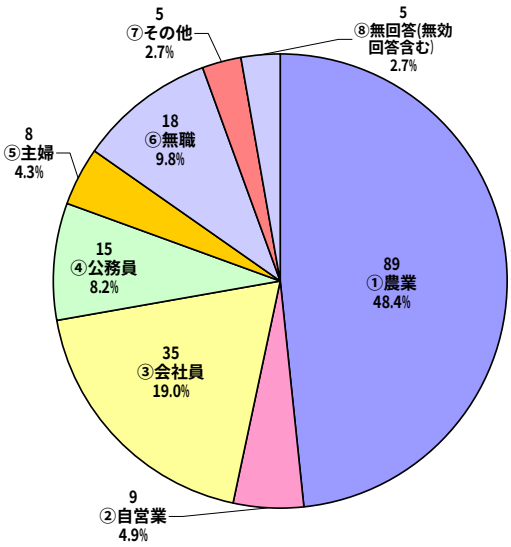
【性　別】



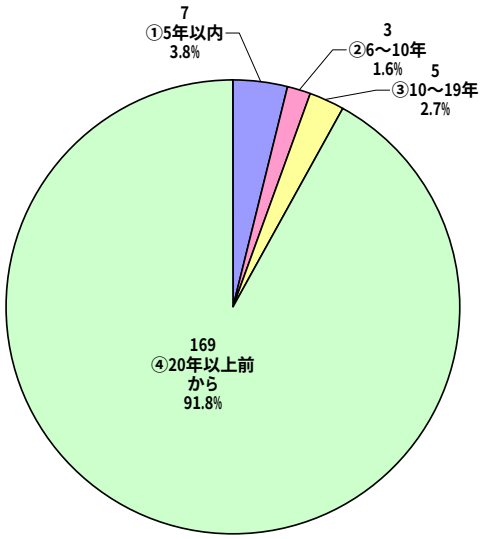
【年　齢】



【職　業】

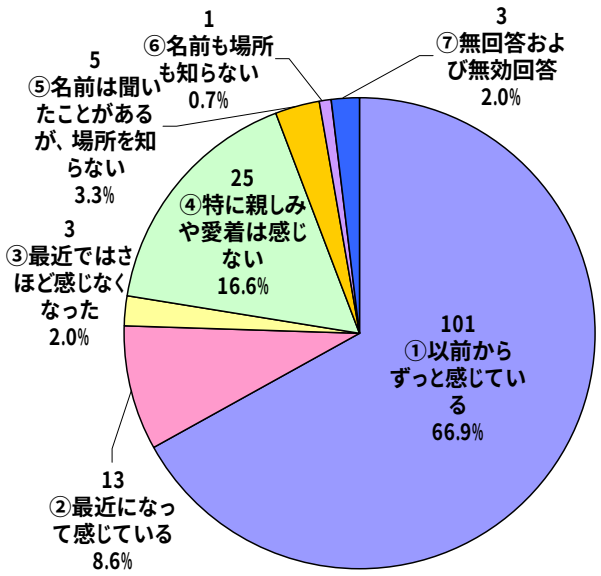


【居住年数】

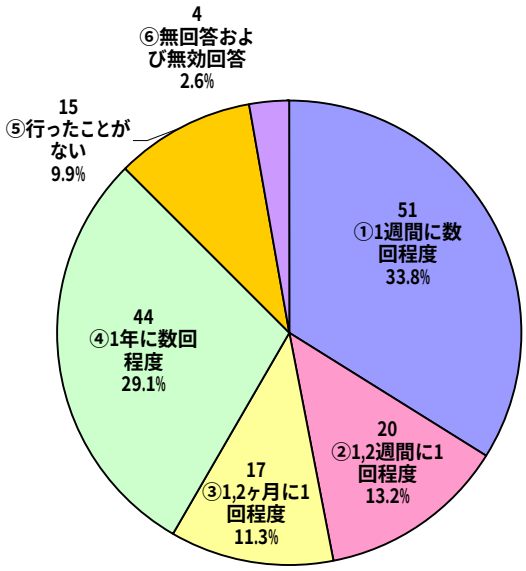


山田川アンケート集計結果

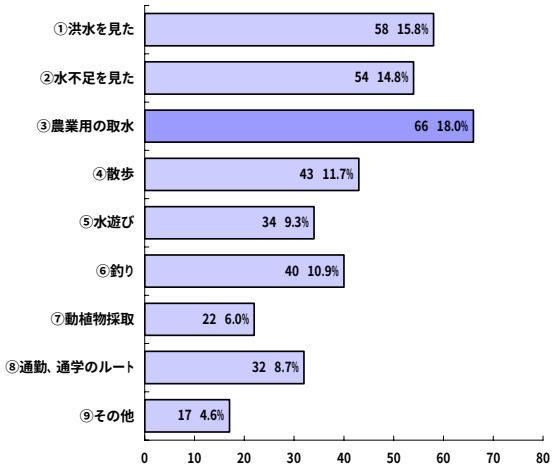
質問-1.　山田川に親しみや愛着を感じますか。



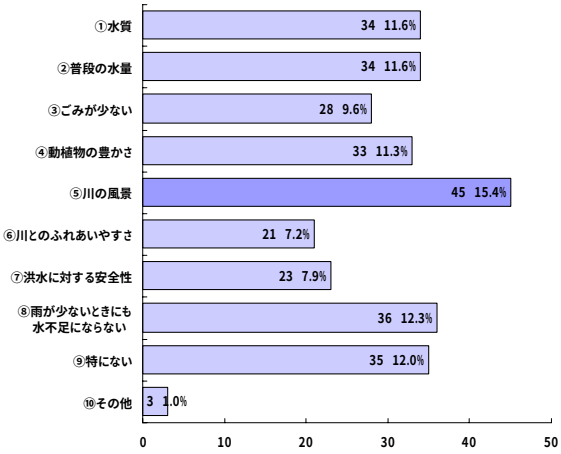
質問-2.　山田川へどの程度行きますか。



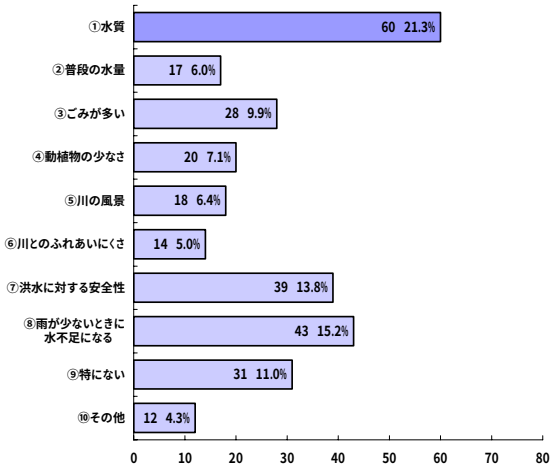
質問-3.　山田川に行ったときにしたことは何ですか。いくつでも回答してください。



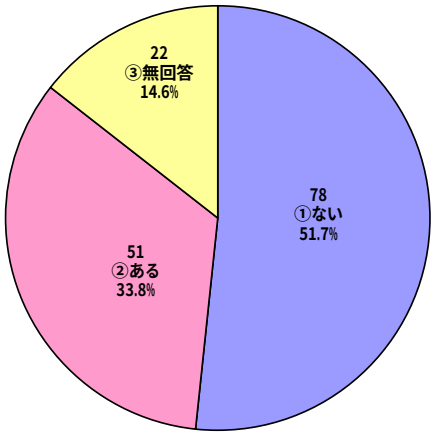
質問-4.　現在の山田川で満足、安心されている点を以下より選んでください。いくつでも回答してください。



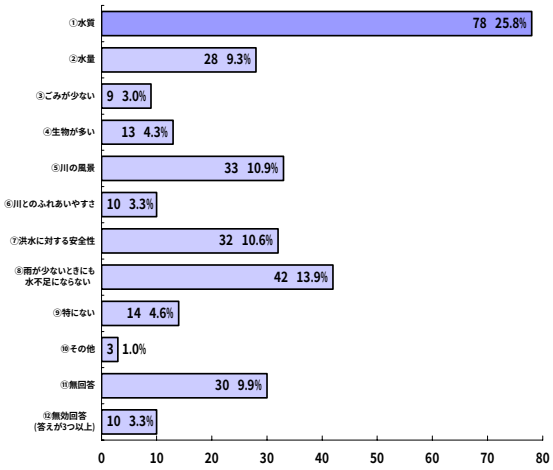
質問-5.　現在の山田川で不満、不安な点を以下より選んでください。いくつでも回答してください。



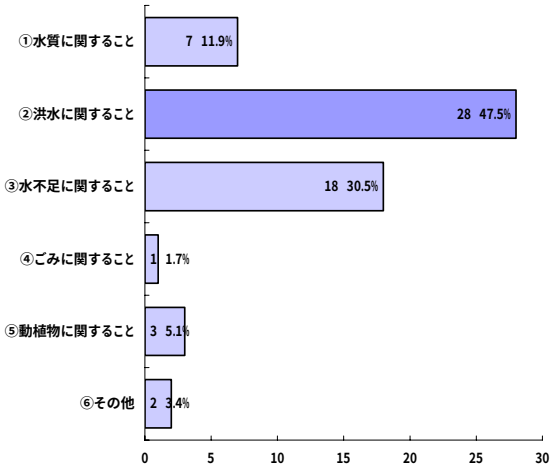
質問-6.　山田川より被害を受けたことがありますか。「ある」とお答えの方は、「いつ」、「どこで」、「どのような」被害を受けられたのかお書きください。



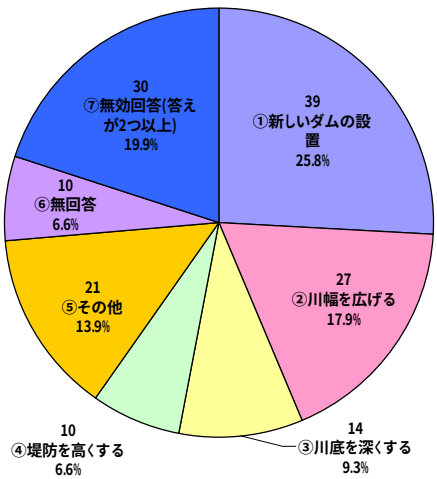
質問-7.　将来の山田川で大切だと思う点を以下より 2 つ選んでください。



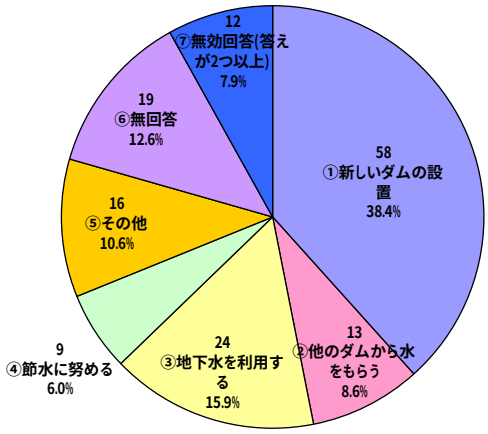
質問-6 の「ある」という意見の内訳



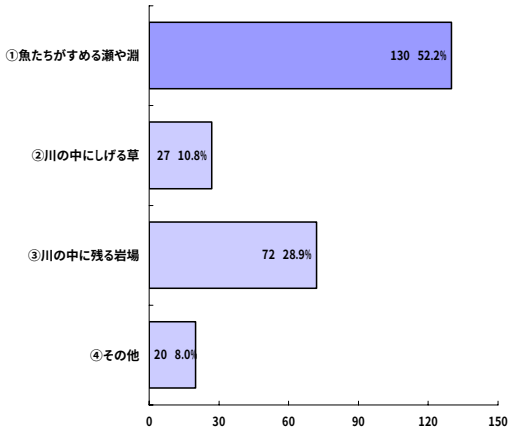
質問-8.　山田川において洪水被害を減少させるためには、今後どのような工事が必要だと思いますか。



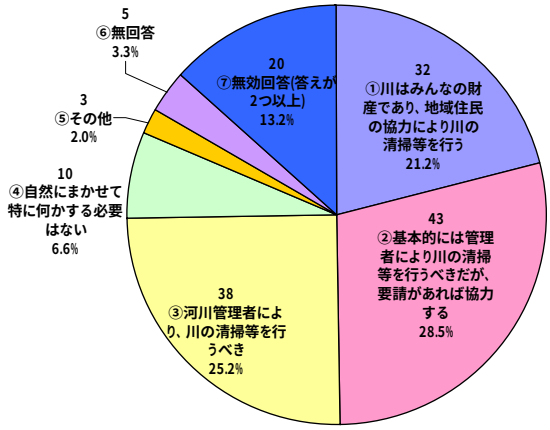
質問-9.　山田川における、水道用水の利用や水不足に対して、今度どのような対策をたてる必要があると思いますか。



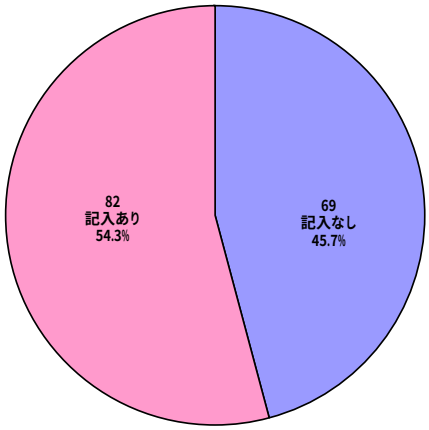
質問-10．　山田川の自然で、今後残したいものを以下より選んでください。いくつでも回答してください。また、その他へは場所やどんな生き物を残したいか、お書きください。



質問-11．　山田川の管理(清掃等)は、どのように行うのがいいと思いますか。

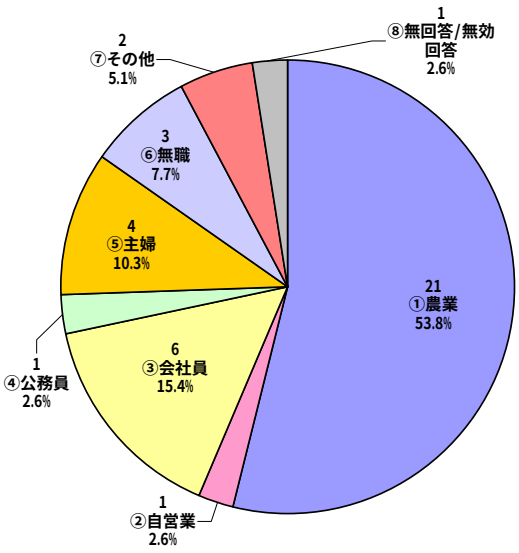


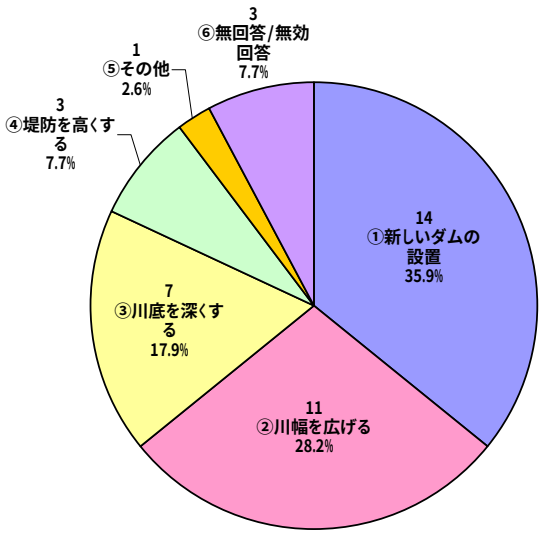
質問-12．　あなたの山田川への意見をお聞かせください(子供の頃のことや整備を進めたい箇所や現況を残したい箇所等、さまざまなご意見をお書きください。)。



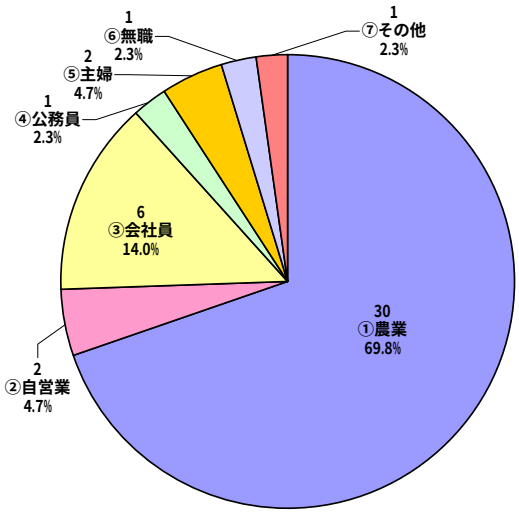
【回答者別の意識格差】

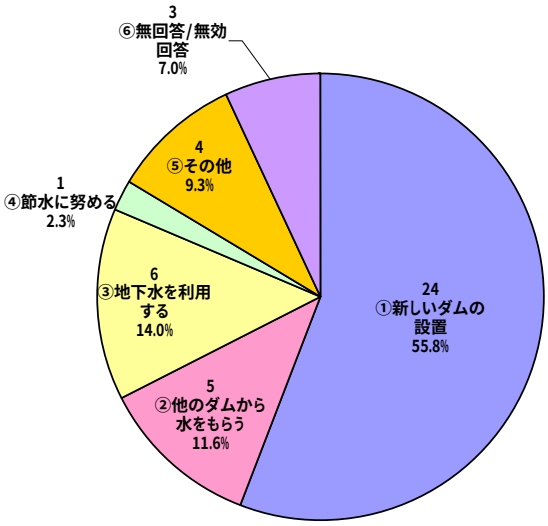
山田川に対する不安・不満な点として、「洪水に対する安全性」をあげている 39 名の職業および対策方法の構成は以下のとおりである。

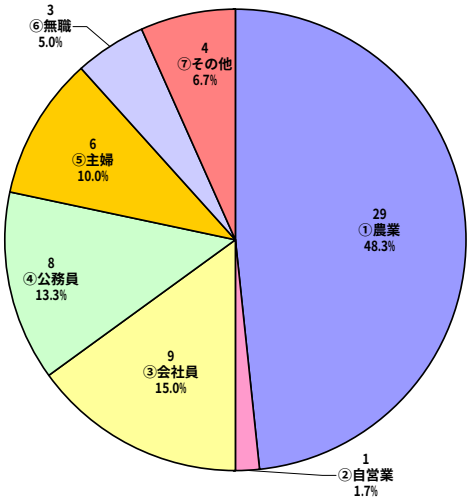




山田川に対する不安・不満な点として、「水不足」をあげている 43 名の職業および対策方法の構成は以下のとおりである。

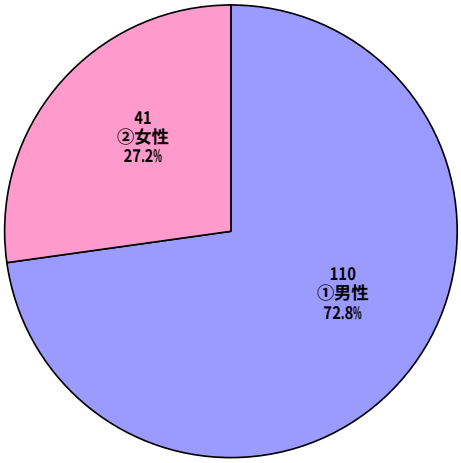




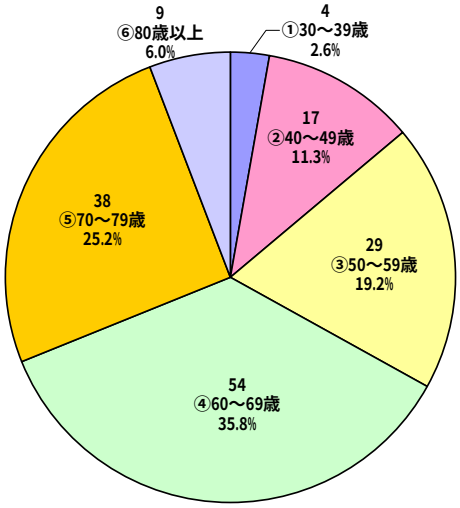


アンケート回答者の属性

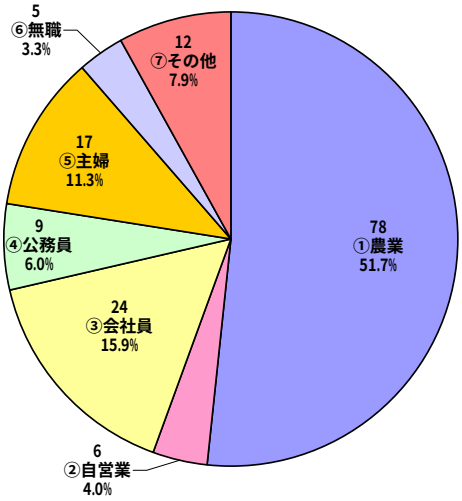
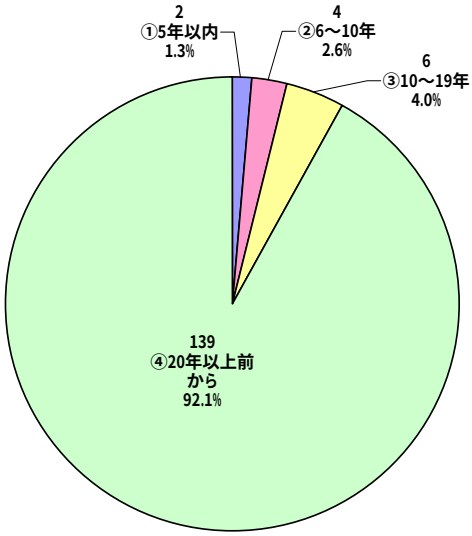
【性　別】



【年　齢】



【職　業】



【居住年数】